水戸市中心市街地活性化協議会

令和4年度
定時総会

令和3年度の報告と4年度の行動計画

令和4年6月24日（金）

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

INDEX

1. 開　会
2. 会長挨拶
3. 議長選任（作戦会議では事務局が進行を担当します）
4. 議　事
   （1）これまでの取り組み概要
   （2）令和3年度の事業報告
   （3）令和3年度の収支決算
   　　監査報告
   （4）令和4年度の事業計画と収支予算
5. その他
6. 閉　会

Ⓒ水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

協議会規約

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会　規約

（名称）

第１条 本会は、「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会（以下、「協議会」という。）」と称する。

（目的）

第２条 協議会は、水戸のまちなかのシンボルであり、かつ中心的な存在でもある大通り（国道５０号）及びその周辺地区の魅力向上について、ソフト・ハード両面での検討を行い、未来ビジョン等の策定を行うとともに、その具体化に向けたアクションを起こすことを目的とする。

（活動）

第３条 協議会は、その目的を達成するため、次の活動を行う。

(1) 官民連携による未来ビジョン等の策定

(2) 未来ビジョン等の国内外への PR・情報発信

(3) 公共空間等を活用した社会実験・データ収集

(4) ビジョン実現のために一体となって取り組む人材の集積・ネットワーク構築

(5) その他協議会の設立の趣旨に沿った活動の企画及び実施

（公告の方法）

第４条 協議会の会員及び議事録は、ＴＲＩＸ　MAG.及び水戸商工会議所ホームページ等において公開する。

（協議会の構成）

第５条　協議会は、次の者をもって構成する。

(1)　関係行政機関

(2)　民間事業者

①まちづくりの推進を図る活動を行うことを目的とする会社等

②まちづくりの推進を図る活動に関心を有する会社等

③公共交通事業者等

④金融機関

⑤建物の所有者、管理者若しくは占有者

⑥公共公益施設の整備若しくは管理を行う者

(3)優れた活動実績を有する者

①学識経験者等の専門人材

②中間支援組織

(4)　前各号に掲げる者のほか、協議会が特に必要と認める者

２　委員の任期は２年とする。ただし、補欠により委嘱し、又は任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（役員）

第６条　協議会に、次の役員を置く。

(1)　会長　１名

(2)　副会長　２名以内

(3)　監事　２名

２　役員は、委員の互選によって選出する。

３　役員の任期は、２年とする。ただし、補欠による任期は、前任者の残任期間とする。

（オブザーバー）

第７条 協議会の活動に関わる法令等の指導・助言を得るために、必要に応じてオブザーバーを置くことができる。オブザーバーは協議会の同意を得て会長が指名する。

（役員の職務）

第８条　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

３　監事は、協議会の会計を監査する。

（全体会議）

第９条　協議会の全体会議（以下「会議」という。） は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

２　会議は、委員の２分の１以上の出席がなければ開くことができない。

３　会議の議事は 出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

４　会長は必要があると認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（協議結果の取扱い）

第１０条　会議において決した事項について関係者はその結果を尊重し当該事項の誠実な 実施に努めるものとする。

（委員会・部会）

第１１条　協議会に、第３条各号に掲げる事項について調査及び研究をするため、委員会・部会を置くことができる。

２　委員会・部会は、会長が指名する委員・部会員をもって組織する。

３　委員会・部会に、委員長・副委員長、及び部会長・副部会長を置く。

４　委員長・副委員長、及び部会長・副部会長は、委員・部会員の互選により選出し、委員会及び部会の運営については、第６条の規定を準用する。

５　委員会・部会において調査及び研究を行った場合は、当該調査及び研究の結果を会議に報告するものとする。

（事務局）

第１２条　協議会の庶務を行うため、協議会に事務局を置く。

２　事務局は、株式会社まちみとラボ内に置く。

３　事務局に、事務局長及び事務局員を置く。

４　事務局長は株式会社まちみとラボ代表とし、事務の一部を水戸商工会議所が協力する。

（経費）

第１３条　協議会の運営に関する経費は、負担金及び補助金をもって充てる。

（財務に関する事項）

第１４条　協議会の予算編成、現金の出納その他財務に必要な事項は、別に定める。

（補則）

第１５条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則

この規約は、令和２年４月３０日から施行する。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

構成員（委員）

・関係行政機関：

国土交通省　関東地方整備局常陸河川国道事務所
茨城県　土木部都市局都市計画課、産業戦略部中小企業課
水戸警察署　交通課、生活安全課
水戸市　都市計画部、市長公室、産業経済部、福祉部、保健医療部、建設部

・民間事業者：

まちづくりの推進を図る活動を行うことを目的とする会社等
株式会社まちみとラボ（都市再生推進法人）
泉町1丁目北地区市街地再開発組合、水戸駅前三の丸地区市街地再開発組合
特定非営利活動法人茨城の暮らしと景観を考える会（中心市街地整備推進機構）

まちづくりの推進を図る活動に関心を有する会社等
三の丸自治コミュニティ、ふぁいぶたうんコミュニティ
水戸商工会議所、水戸商工会議所女性会、一般社団法人水戸市商店会連合会
南町連合商店会、オール泉町商店会、公益社団法人水戸青年会議所
株式会社水戸京成百貨店、学校法人リリー文化学園、株式会社茨城新聞社
株式会社横須賀満夫建築設計事務所、公益財団法人水戸市芸術振興財団
株式会社常陽産業研究所、香陵住販株式会社

公共交通事業者等
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社
茨城交通株式会社、関東鉄道株式会社、茨城県ハイヤー・タクシー協会

金融機関
株式会社常陽銀行、茨城県信用組合、水戸信用金庫

公共公益施設の整備若しくは管理を行う者
一般財団法人水戸市商業・駐車場公社

・優れた活動実績を有する者：

専門人材　金　利昭（茨城大学名誉教授）
田中耕市（茨城大学人文社会科学部現代社会学科教授）
萩原　岳（日本交通計画協会交通計画研究所）
小野寺康（小野寺康都市設計事務所代表）
三上靖彦（株式会社まちみとラボ代表）
平田輝満（茨城大学大学院理工学研究科准教授）
中山佳子（日本設計主管）

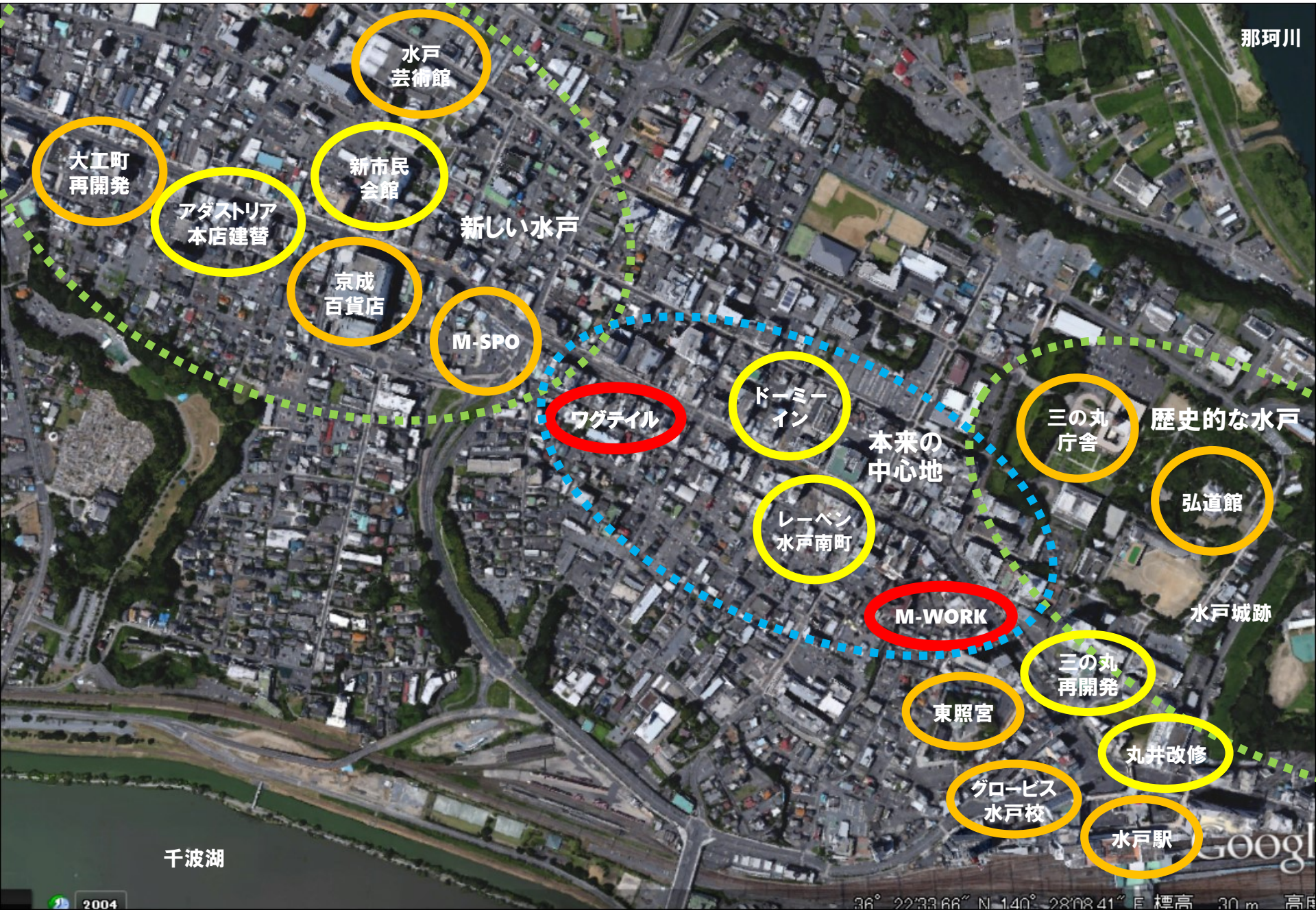
中間支援組織　水戸ど真ん中プロジェクト

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

1. これまでの取り組み概要

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

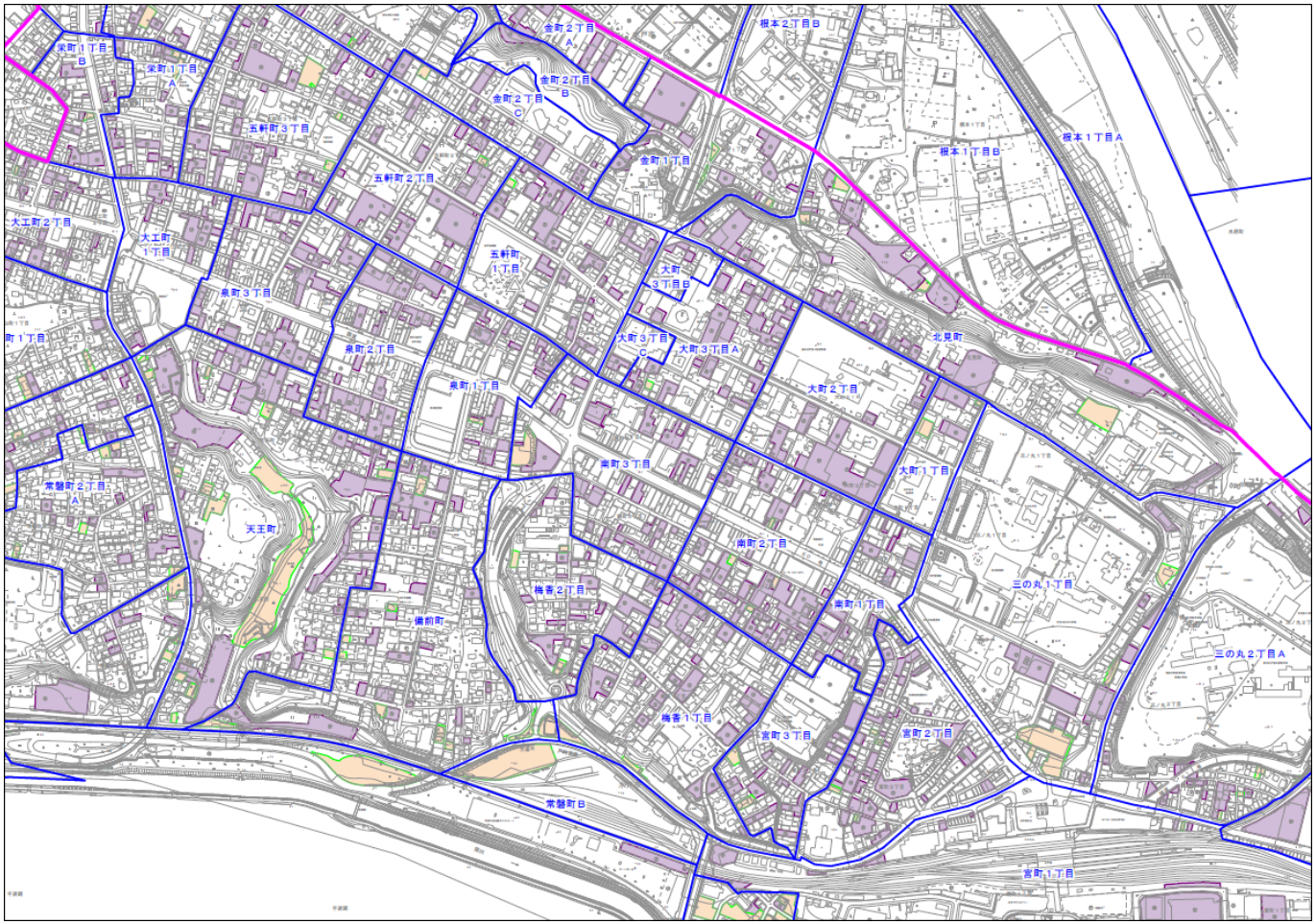
『歴史の街と新しい街』水戸を再生する



水戸のまちなか

広域水戸都市圏の中の中心で、水戸の「**格付け**」を決めたところ。
中心性の喪失は、水戸の街そのものの格付けの低下に。
今はまだ、水戸のまちなかは多くの人たちの**思い出の中の「中心」**。
若い人たちの中にもその「**ステータス**」は残っている。

今が
最後のチャンス



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出による「魅力的なまちづくり」

国土交通省

【都市再生特別措置法】

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに向けた計画の策定・共有

・市町村都市再生協議会*の構成員として、官民の多様な関係者を追加することを可能に*
（まちづくりの主体である市町村等が、地域の実情に応じ、どのような者を構成員として追加するかを判断）

＊市町村都市再生協議会：都市再生整備計画（市町村が作成するまちづくりのための計画）の策定・実施等に関し必要な協議を行う場

＊協議会構成員に追加することができる者として、公共交通事業者、公共施設管理者、公安委員会その他まちづくり計画に密接な関係を有する者を明記

・市町村が都市再生整備計画を策定し、官民一体で行う「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりのための取組を位置付け

［予算］官民連携によるまちづくり計画の策定等を支援

※ 商工会議所、社会福祉協議会等の様々な者を、地域の実情に応じ追加することが可能

①：協議会を組織できる者
②：①の者が必要があると認める場合に、協議会構成員に追加することができる者
（下線：新たに明記）

都市再生整備計画の策定（市町村）

計画に基づく「居心地が良く歩きたくなる」空間の創出

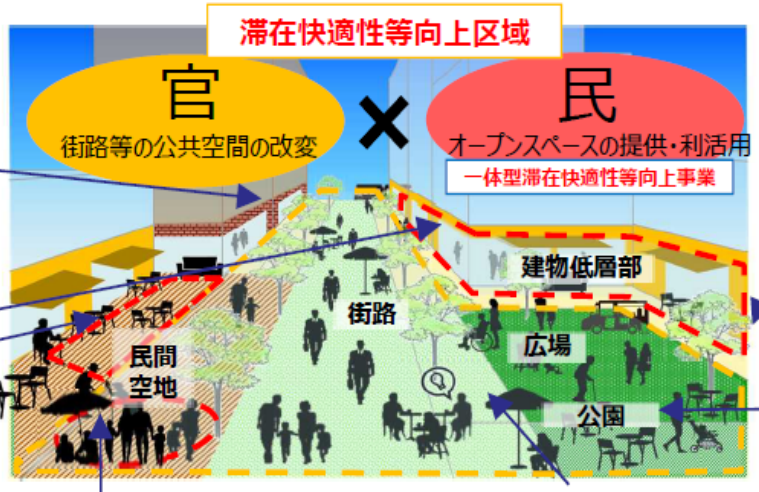
・都市再生整備計画に基づく「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりのための取組を、法律・予算・税制等のパッケージにより支援

・市町村等による歩行者滞在空間の創出（街路の広場化等）

［予算］交付金等による支援

・民間事業者による民地部分のオープンスペース化（①）や建物低層部のガラス張り化等（②）

［税制］固定資産税の軽減
［予算］補助金による支援



・駐車場の出入口の設置を制限（メインストリート側ではなく裏道側に駐車場の出入口を設置）

・民間事業者が公園管理者と締結する協定に基づき、公園内にカフェ・売店等を設置

・都市再生推進法人*がまちづくり活動の一環としてベンチの設置、植栽等を実施

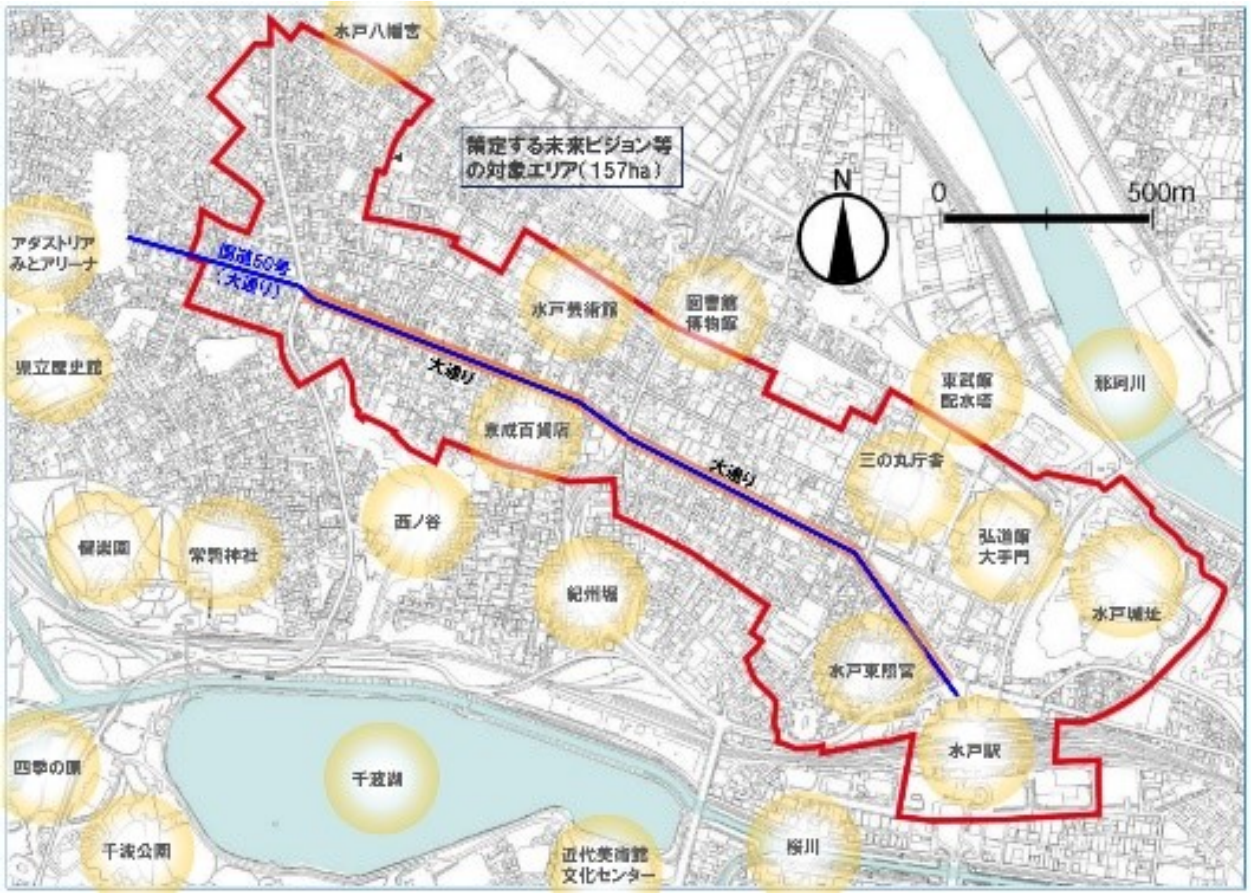
＊都市再生推進法人：NPO、まちづくり会社等の地域におけるまちづくり活動を行う法人（市町村が指定）

［金融］低利貸付による支援

・イベント実施時などに都市再生推進法人が道路・公園の占用手続を一括して対応

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会の設立

平成28年6月、水戸市中心市街地活性化基本計画に、国道50号線の有効活用を検討する組織の線等の魅力向上を目的とした「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」の設立必要性が盛り込まれた。
令和2年5月、**設立趣旨に共感頂き、国、県、市をはじめとする40を超える団体と専門人材**により協議会が発足。



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会
設立までの経緯

・平成20年10月　水戸市中心市街地活性化協議会の発足

・平成28年　2月　水戸ど真ん中再生プロジェクトの発足

　　6月　水戸市中心市街地活性化基本計画の総理大臣認定

　　（まちづくり会社や、大通りの魅力向上検討会の必要性について記述）

　　11月　株式会社まちみとラボの設立

・平成29年　1月　地方創生推進交付金を活用したまちなか再生が始まる（まちみとラボ）

・平成30年11月　まちみとラボ、水戸市から都市再生推進法人に指定される

・令和　元年　6月　民間まちづくり活動推進事業（裏通りからの再生）が始まる（まちみとラボ）

　　12月　大通りの魅力向上のための協議会設立に向けた準備開始

・令和　2年　4月　水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会発足（書面による設立総会）

　　5月　国土交通省の「官民連携まちなか再生推進事業」にエントリー

　　7月　大通り沿道飲食店の歩道使用（水戸まちなかオープンテラス）が始まる

　　官民連携まちなか再生推進事業の実施事業者に選定される

　　9月　第一回全体会議の開催

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会
協議会の設立趣旨

水戸のまちなかは、人口、産業、文化、歴史、情報、交通、あらゆる面で広域水戸都市圏の中心でした。その歴史的背景、役割から、水戸としての「格付け」を決めたところでもあります。しかし今、その中心性が大いに損なわれ、衰退しつつあります。このままでは、水戸の街そのものの格付けの低下、イメージダウンに繋がり兼ねません。

水戸市中心市街地活性化協議会では、平成28年に内閣府の認定を受けた「水戸市中心市街地活性化基本計画」策定の際に、国道50号線の有効活用を検討する組織の立ち上げについて、水戸市に提案し、計画に盛り込まれました。

そこで、都市再生推進法人「まちみとラボ」を中心として、水戸のまちなかのシンボルであり、かつ中心的な存在でもある大通り（国道50号）等の魅力向上を目的とした「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」を設立することとしました。

本協議会では、国土交通省において令和2年度に創設された「官民連携まちなか再生推進事業」におけるエリアプラットフォームに位置付け、エリアの将来像を明確にした未来ビジョンの策定およびビジョンを実現するための社会実験等に取り組んでいく予定です。

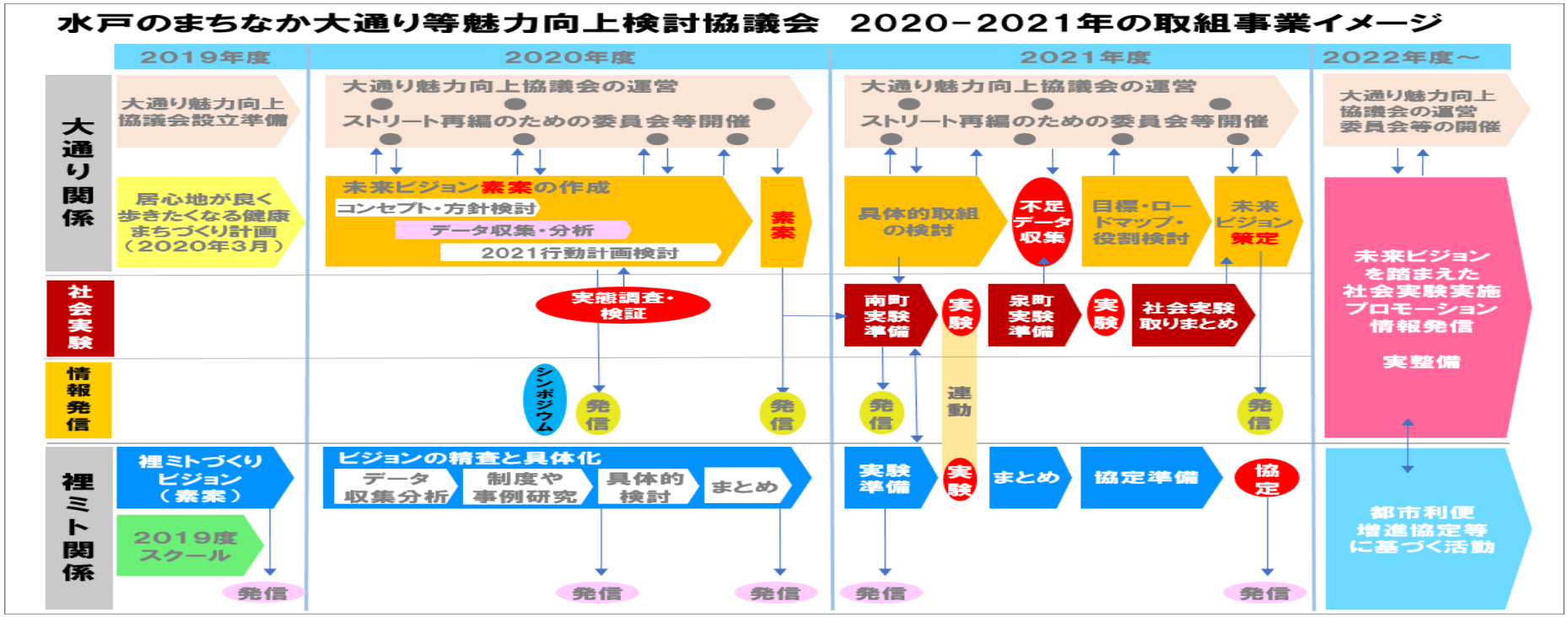
郷土の子供たちは、活動を進める私たちの背中を見ながら、そして、より魅力の向上した大通りを活用しながら、「水戸っぽ」って格好いいね！「水戸っぽ」って粋だね！とささやき合ってくれるに違いありません。

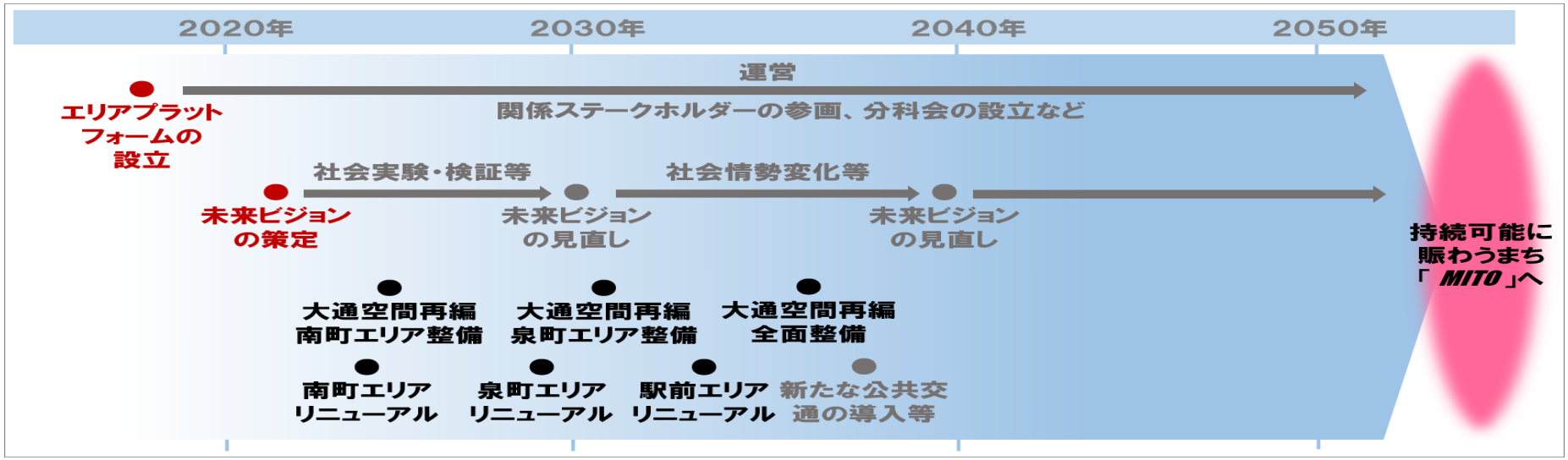
令和2年4月吉日

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会設立準備会

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

取組事業イメージ


水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会　2020−2021年の取組事業イメージ
2019年度
2020年度
2021年度
2022年度～
大通り関係
大通り魅力向上協議会設立準備
居心地が良く歩きたくなる健康まちづくり計画（2020年3月）
大通り魅力向上協議会の運営
ストリート再編のための委員会等開催
未来ビジョン素案の作成
コンセプト・方針検討
データ収集・分析
2021行動計画検討
素案
具体的取組の検討
不足データ収集
目標・ロードマップ・役割検討
未来ビジョン策定
大通り魅力向上協議会の運営委員会等の開催
未来ビジョンを踏まえた社会実験実施プロモーション情報発信
実整備
社会実験
実態調査・検証
南町実験準備
実験
泉町実験準備
実験
社会実験取りまとめ
情報発信
シンポジウム
発信
連動
裡ミト関係
裡ミトづくりビジョン（素案）
2019度スクール
ビジョンの精査と具体化
データ収集分析
制度や事例研究
具体的検討
まとめ
実験準備
実験
まとめ
協定準備
協定
都市利便増進協定等に基づく活動


2020年
2030年
2040年
2050年
運営
関係ステークホルダーの参画、分科会の設立など
エリアプラットフォームの設立
社会実験・検証等
社会情勢変化等
未来ビジョンの策定
未来ビジョンの見直し
未来ビジョンの見直し
大通空間再編 南町エリア整備
大通空間再編 泉町エリア整備
大通空間再編 全面整備
南町エリアリニューアル
泉町エリアリニューアル
駅前エリアリニューアル
新たな公共交通の導入等
持続可能に賑わうまち「MITO」へ

官民連携まちなか再生推進事業による取り組み

茨城の中心・茨城のイメージを決める水戸のまちなかは、**今までとは違うアプローチによる抜本的な対策が必要**。協議会を、国土交通省の「官民連携まちなか再生推進事業」におけるエリアプラットフォームに位置付け、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりへ向け、**未来ビジョンの策定およびビジョンを実現するための社会実験等**に取り組んでいくこととした。

官民連携まちなか再生推進事業の特徴

位置付けよりも、エリアプラットフォーム（協議会）構成メンバーの**共感・共有を、**ビジョンの具現化の原動力としている。**共感できるビジョンを元に、官民が各々主体性をもち、社会実験等を通じたデータ検証を重ねながら、公共空間の実践的利活用と、まちづくりの持続性を目指す。**

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

【予算】官民連携まちなか再生推進事業（エリアプラットフォーム活動支援事業）

国土交通省

実施フロー	実施主体	補助対象例
エリアプラットフォームの構築 未来ビジョン等の策定	地方公共団体	エリアプラットフォームの構築・未来ビジョン等の策定
未来ビジョン等に基づく ①シティプロモーション・情報発信 ②社会実験・データ活用 ③交流拠点等整備 の実施	エリアプラットフォーム	未来ビジョン等に基づく各種取組

エリアプラットフォームの構築・未来ビジョン等の策定

○エリアプラットフォームの形成・運営に要する費用

○未来ビジョン等の策定に要する費用（データ収集・分析、専門人材活用、勉強会・意識啓発活動等）

ビジョンの策定

未来ビジョン等に基づく各種取組

シティプロモーション・情報発信

○地域の魅力をPRする国内外でのプレゼンテーションやイベント等を実施

○地域の魅力をまとめたパンフレットやウェブサイト等の作成・発信

社会実験・データ活用

○道路上でのオープンカフェを展開し、来街者調査を実施

○低未利用地を活用した憩いの場の創出

交流拠点等整備

○既存施設のリノベーションによる国際交流創造施設の整備

○ 民間都市開発事業において整備される国際競争力強化施設（国際会議場等）

（２）街路空間におけるアクティビティ

国土交通省

- ストリートにおけるアクティビティを、タイプとアクティビティの活動量（動的・静的）に応じて例示していくと以下のようになり、これらの多様なアクティビティを踏まえたスストリートのあり方が重要

※前述の「ストリートデザイン・マネジメント」に例示された活動のほか事例等をもとに例示

動的活動

任意活動

良い条件下で起きる、一人でもできる活動

■ランニング、ジョグ

■散策、まちあるき、ペットの散歩

■体操、健康づくり

■屋外で仕事や作業をする

■写真撮影、写生、風景を眺める

■日光浴、寝そべる

■座って本を読む

静的活動

社会活動

地域生活活動（日常的習慣）

■みちあそび

■身体を動かすゲーム

■ヨガ教室

■ピクニック

■まちかどでの会話

■飲食をする

■清掃、ゴミ拾い

地域文化活動（地域価値を高める）

■マルシェ、フリマ

■屋外映画鑑賞

■花壇や植栽の管理

■花見

■お祭り

■大道芸、ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ

表現活動（芸術・表現・ｴﾝﾀﾒ）

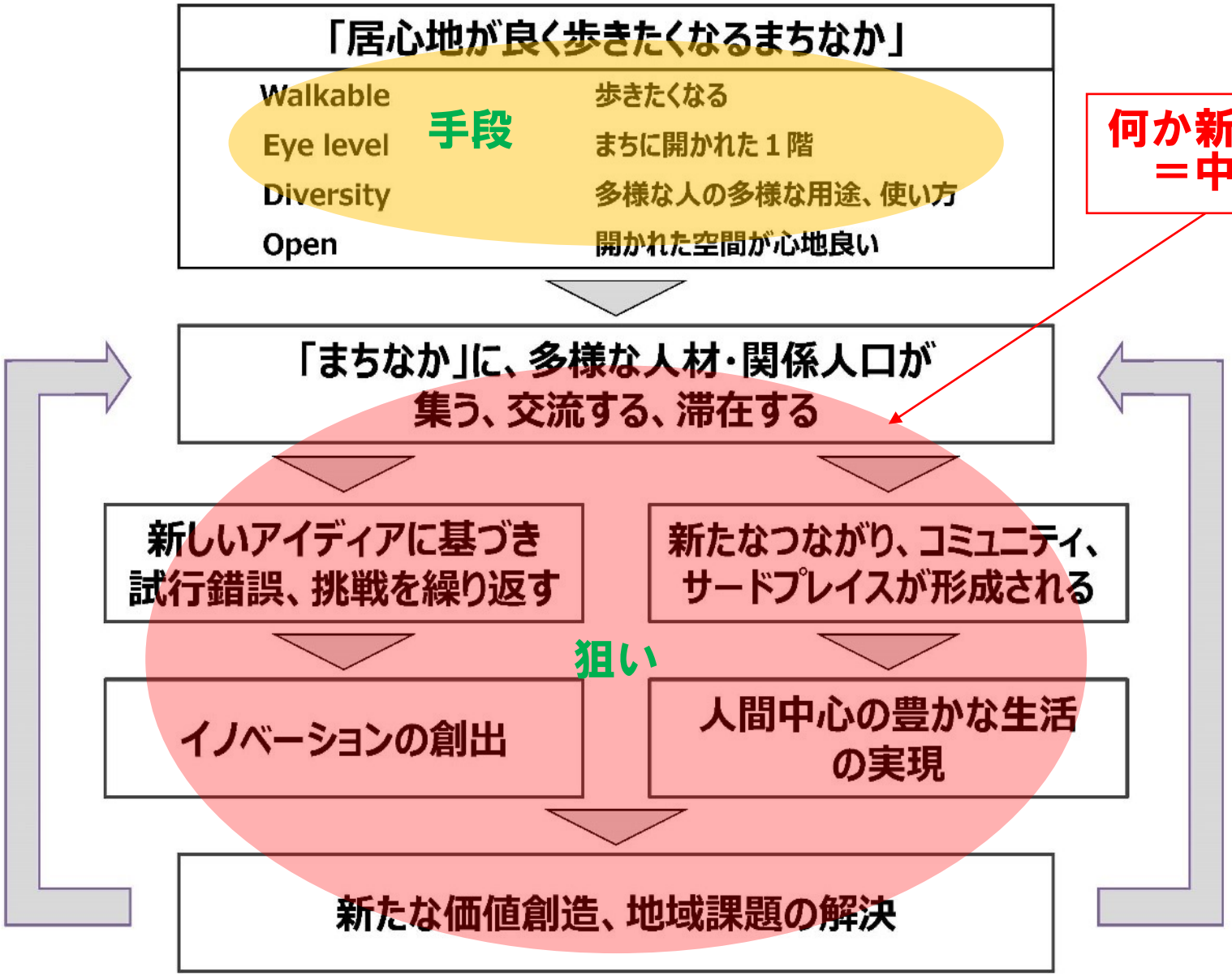
■ストリートスポーツ

■ストリートライブ、ダンス

■結婚式

■募金活動

なぜ、人中心の「まちなか」づくりが必要なのか？



令和2年度の協議会活動内容

検討・策定プロセス

プラットフォームの設立（実施済）
目的、規約、参画要請・設立

→ 設立総会（実施済）

エリアプラットフォームの構築
運営方針・活動方針、体制方針

→ 第一回全体会議

→ 委員会・部会合同セミナー

未来ビジョン素案の作成

（1）目指す姿の具体化（バックキャスティング）
- 将来像の設定（方針・コンセプト、イメージ）
- 地区ごとの将来像の設定
- 重点検討ゾーンにおけるイメージ

（2）素案策定に必要データ収集と分析
- 既存データの収集・整理・分析
- 不足データの抽出と収集方策の検討

（3）実現のためにクリアすべき問題点と対策
- 問題点の抽出・整理
- 問題点の対応方策の検討

↔ 委員会 → 4部会

→ 第二回全体会議

→ 情報発信①
- 協議会の紹介
- シンポジウムや実態調査の案内

シンポジウム

↔ 委員会 → 4部会

実態調査・検証

↔ 委員会・部会合同 → 4部会

2021行動計画の検討
- 2021実施メニューの検討
（方向性の検証、データ収集、フィールド検証等）
- 2021行動計画の実施体制と役割分担

↔ 委員会

→ 第三回全体会議

まとめ

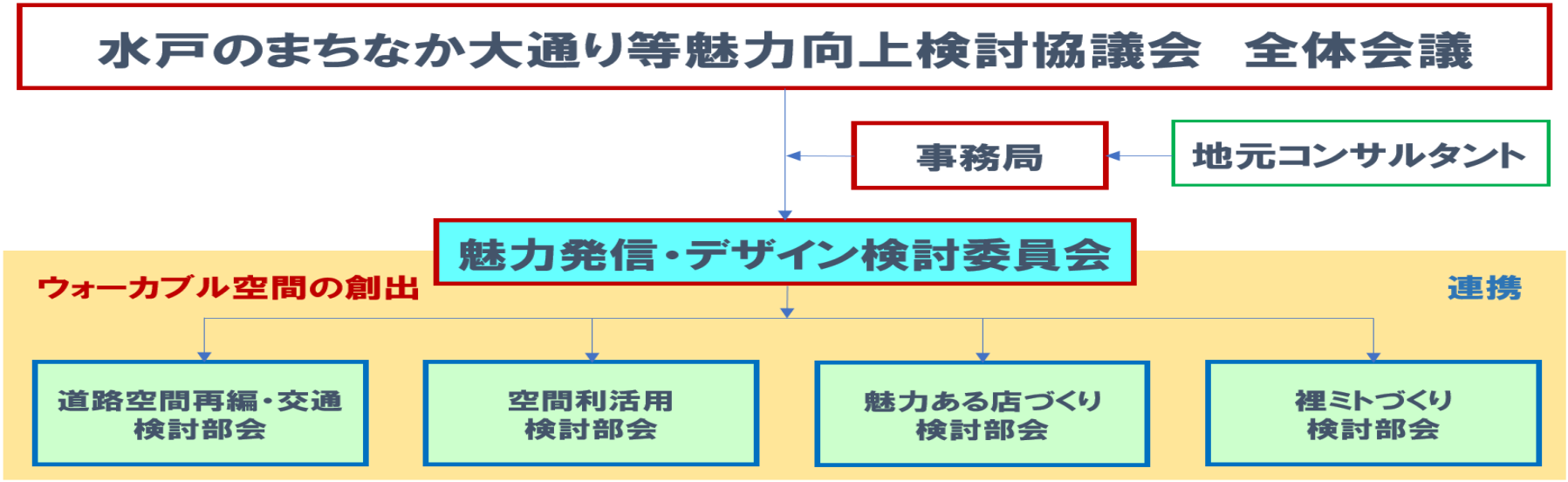
→ 情報発信②
- ビジョン素案紹介
- 今後の取組紹介
- ご意見募集　等

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

検討体制

【委員会と部会の設置】

・エリアプラットフォームとして「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」を設立（済）。
・全体会議は、事業を円滑に進めるためのオーソライズの場とする。
・全体会議の下に、エリアの価値を高める「魅力発信・デザイン検討委員会」を設け、暮らし方や働き方を含めた「場」の作り方、使い方、機能、景観等の方向性を検討・提示する。
・この委員会の下に、水戸のまちの将来を担う若手を中心とした、「道路空間再編・交通検討部会」「空間利活用検討部会」「魅力ある店舗づくり検討部会」と、モデル的な裏通りづくりを検討するための「裡ミトづくり検討部会」を設け、将来像や実現施策についての実質的な議論の場とする。
・まちみとラボと商工会議所が事務局を担い、協議会や委員会、部会運営をサポートする。
・ビジョン策定等や社会実験の実施にあたっては、地元水戸のコンサルタントを活用する。



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

協議会や全体会議等の開催状況

令和2年　5月22日(金) 水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会設立(書面決議)
5月25日(月) 国土交通省「令和2年度官民連携まちなか再生推進事業」への応募
7月30日(木) 令和2年度官民連携都市再生推進事業費補助金内定
8月　4日(火) 交付申請(茨城県都市計画課経由)※10月9日一部変更
8月17日(月) 第一回全体会議事前協議(正副会長、専門委員、事務局)
9月10日(木) **第一回全体会議**
9月17日(木) コンサルタントへの未来ビジョン策定委託
9月23日(水) 委員会・部会合同セミナー
9月25日(金) 常陸河川国道事務所高橋副所長との協議①
11月　6日(金) 水戸市都市計画部加藤部長への中間報告①
12月　1日(火) 情報発信その①
12月19日(土) 魅力発信・デザイン検討委員会と正副部会長合同会議③(まち歩き)
令和3年　1月　8日(金) 水戸市都市計画部加藤部長への中間報告②
1月20日(水) 国土交通省「令和3年度官民連携まちなか再生推進事業」への応募
1月27日(水) 第二回全体会議事前協議(会長、事務局)
1月28日(木) 常陸河川国道事務所高橋副所長との協議②
1月29日(金) **第二回全体会議**
2月　4日(木) 国土交通省ヒアリング(次年度要望)
2月18日(木) シンポジウム第二部パネリスト事前協議
2月18日(木) 常陸河川国道事務所高橋副所長との協議③
2月22日(月) 水戸市市長公室長への説明
2月26日(金) シンポジウム第三部パネリスト事前協議
2月28日(日) 水戸まちなかデザインシンポジウム「 みんなで創る水戸のまちなかの未来 」
3月　2日(火) 水戸市市長公室・都市計画部・産業経済部へのシンポジウム開催報告
3月　5日(金) 茨城県へのシンポジウム開催報告
3月　8日(月) 良品計画(無印良品)水戸店との協議
3月23日(火) 第三回全体会議事前協議(会長、常陸河川国道事務所)
3月25日(木) **第三回全体会議**
3月31日(水) 情報発信②

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

委員会や部会の開催状況

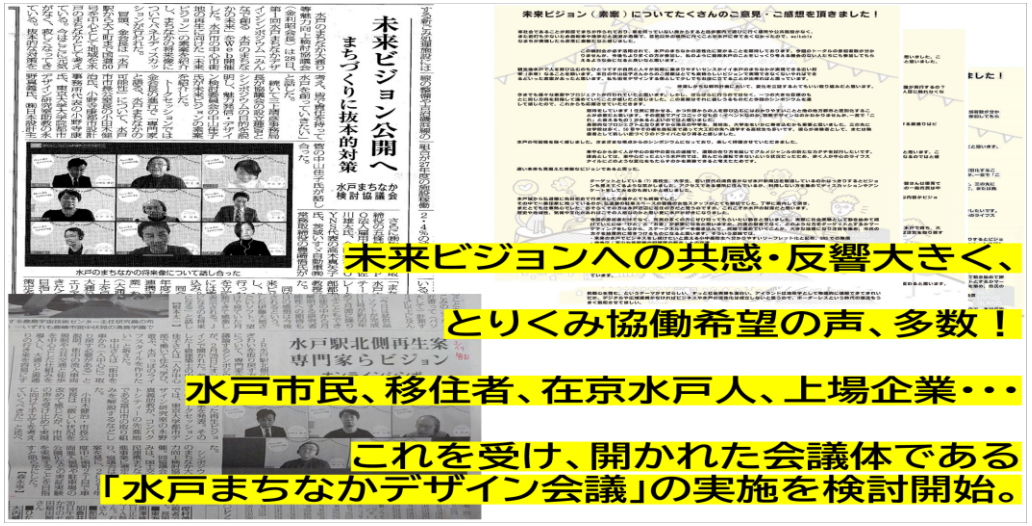
令和2年　9月23日（水）委員会・部会合同セミナー
10月　9日（金）魅力発信・デザイン検討委員会と正副部会長合同会議①
10月14日（水）道路空間再編・交通検討部会①
10月16日（金）魅力発信・デザイン検討委員会と正副部会長合同会議②
10月27日（火）魅力発信・デザイン検討委員会①
10月30日（金）魅力ある店づくり検討部会①
10月30日（金）空間利活用検討部会①
11月11日（水）道路空間再編・交通検討部会②
11月13日（金）裡ミトづくり検討部会①
11月13日（金）空間利活用検討部会②
11月16日（月）魅力ある店づくり検討部会②
11月24日（火）魅力発信・デザイン検討委員会②
11月29日（日）魅力発信・デザイン検討委員会③
11月29日（日）空間利活用検討部会③
11月30日（月）魅力ある店づくり検討部会③
12月　5日（土）魅力発信・デザイン検討委員会④
12月　7日（月）道路空間再編・交通検討部会③
12月10日（木）空間利活用検討部会④
12月14日（月）魅力ある店づくり検討部会④
12月17日（木）裡ミトづくり検討部会②
12月19日（土）魅力発信・デザイン検討委員会と正副部会長合同会議③（まち歩き）
令和3年　1月25日（月）魅力発信・デザイン検討委員会と正副部会長合同会議④
1月28日（木）常陸河川国道事務所高橋副所長との協議②
2月17日（水）魅力発信・デザイン検討委員会⑤（シンポジウム第三部パネリスト合同）
2月20日（土）空間利活用検討部会⑤
2月25日（木）魅力ある店づくり検討部会⑤
2月26日（金）道路空間再編・交通検討部会④
3月　2日（火）裡ミトづくり検討部会③
3月　7日（日）空間利活用検討部会⑥
3月　9日（火）道路空間再編・交通検討部会⑤
3月10日（水）魅力ある店づくり検討部会⑥
3月17日（水）魅力発信・デザイン検討委員会と正副部会長合同会議⑤

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

2021.2.28

＼視聴者、全125名／

シンポジウムを開催、未来ビジョン素案を公開！



未来ビジョンへの共感・反響大きく、

とりくみ協働希望の声、多数！

水戸市民、移住者、在京水戸人、上場企業・・・

これを受け、開かれた会議体である
「水戸まちなかデザイン会議」の実施を検討開始。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

ビジョン素案の策定とその特徴

R2　5月　協議会発足
　　9月　第一回全体会議
　　委員会や部会を設置
　　合同セミナーを開催
　　委員会や部会、現地調査を開催（計30回以上）
R3　1月　第二回全体会議
　　2月　オンラインシンポジウム開催
　　3月　第三回全体会議
　　4月　高橋市長へのプレゼン

特　徴

作り方

①官民が連携しつつも、民が主導。
②若手の自由な発想でビジョンの骨格を作る。
③官民双方の年長者が若手をサポート。

ビジョンの中身

④ハードではなくライフスタイルが焦点。
⑤社会実験による常に新しい挑戦を継続。

具体化

⑥自分ゴトとして捉え、具体的行動に移すことが前提。
⑦年長者や行政が前向きに支援。

その他

⑧web会議が主体であったため、在京人も気軽に参加。
⑨位置付けがないので、共感こそ命。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

水戸のまちの
IMAがわかる
フリーペーパー

TRIX MAG. paper

MEDIA MIX FREEPAPER

http://www.trix-mag.com

VOL 06 2021 SPRING

TRIX MAG. paper はウェブサイトTRIX MAG.[トリックス マガジン]と連動して不定期発行するフリーペーパー。
TRI=3、X=10 で310=水戸を表し、水戸芸術館でもタワーのモチーフになっている10個の三角形をあしらっています。
アートや音楽、演劇、映画、ライフスタイルのカルチャーコラムを中心に、水戸のまちなかで行なわれる催しの情報を発信していきます。

車から人中心の、居心地よく歩きたくなる街なかへ

＼水戸まちなか未来ビジョン素案概要公開／

2月28日、第1回水戸まちなかデザインシンポジウムをオンライン開催。未来ビジョン素案を紹介、そして専門家やまちなかのプレイヤーと未来を語る。

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会は、水戸まちなかエリアの再生にむけた「未来ビジョン」を21年度末に向け検討中です。去る21年2月28日、多くの方々に共感頂ける未来ビジョンを策定するため、「第1回水戸まちなかデザインシンポジウム みんなで創る水戸まちなかの未来」を開催しました！

協議会の中山委員による"未来ビジョン素案"の第1部プレゼンテーションを踏まえ、第2部では東京大学の永野氏より、「コンパクトシティはボディメイキングである」、建築家の小野寺氏より「ストリートデザインは本来あるべき姿に戻すこと」との示唆から水戸の可能性を議論。第3部では、まちなかのプレイヤーが自分ゴトな視点から、まちなかの未来を語り合いました。オンライン開催の利点を活かし、視聴者の皆様から寄せられたコメントをリアルタイムで取り上げ、パネリストがトークを展開。TRIX MAG本号では、未来ビジョン素案概要を大公開いたします！

開催概要

第1回水戸まちなかデザインシンポジウム
「みんなで創る水戸まちなかの未来」
2月28日(日) 13:00-16:30　@オンライン配信

第1部　未来ビジョン素案のプレゼンテーション
「私たちの水戸っぽライフ まちなか再生計画
―挑戦心を育む、コンパクトな街なか暮らしを取り戻す―」
中山佳子　(魅力発信・デザイン検討委員会、一級建築士)

第2部　専門家と語る、水戸まちなかの可能性
小田木健治(水戸市 市長公室公室長)、小野寺康(小野寺康都市設計事務所 代表)、永野真義(東京大学大学院都市デザイン研究室 助教)、中山佳子(株式会社日本設計 主管)
モデレータ：金利明(協議会 会長)

第3部　まちの担い手と語る、水戸まちなかの未来
五條誠司(株式会社牧ノ原 代表取締役)、佐川雄太(あした学校NPO法人雇用人材協会)、高木真矢子(合同会社JOYNS 代表)豊崎悟(茨城いすゞ自動車株式会社 常務取締役)
モデレータ：平田輝満(茨城大学工学部 准教授)
視聴者意見紹介：加藤周大(魅力発信・デザイン検討委員会)
総合司会：三上靖彦(協議会事務局長)

◀「水戸まちなかチャンネル」YOUTUBE 配信中
シンポジウム、未来ビジョン素案の見逃し配信は
右記 QR コードをクリック！

PROJECT SUMMARY

多くの視聴者コメントをお寄せいただきました

シンポジウムには、125名の視聴者に参加頂き、ZOOMチャット機能を用いリアルタイムで寄せていただいたコメントをご紹介しました。また、シンポジウム後のアンケートにおいて、沢山の応援、共感、また実現に向けた課題の指摘等のコメントを頂きましたので、一部をご紹介します。ご意見を頂いた皆様、誠にありがとうございました!
協議会のSNSページにて、全コメントと回答を記載していますので、是非ご覧ください。

―素案の中であげられていた課題全て非常に共感いたしました。walkableなまちが実現したら素敵だなと感じ、ぜひ参加し、お力になれればと思います。

―たいへん興味深い内容でした。明日から、日常の中でのまちの見方、感じ方が変わると思います。

―私も街をデザインする側として少しでもお役に立てることが出来ればと思っています。

―アイランド・シティを目指し、水戸の生活習慣を変えていくというコンセプトは、とても共感でき、居住者として、働く者として、自分ごとに考えられる素案だと思います。

―不動産オーナーの意向をどう取りまとめて行くのかがポイントの一つかと思いました。

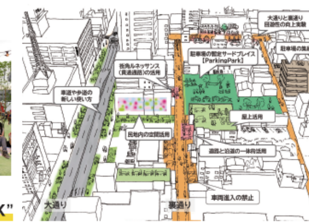
―行政が表に出ず、ある種理想的なカタチだと思う。これだけの民間プレーヤーがいることが財産だと思う。

2021年秋、水戸まちなかで実証実験を実施予定

未来ビジョン素案を踏まえ、実現可能性の検証や実効的なアクションの第1歩として、2021年秋、水戸まちなかで試行・実証実験を実施します。

対象地は、現在歩行者ネットワークの谷地である、南町2丁目大通り、裏通りの一角を含むエリアとします。未来ビジョン素案のコンセプト「MITO LIVING ISLAND一挑戦心を育むコンパクトな街なか暮らしを取り戻す一」の具現化に向け、歩いて楽しいライフスタイルの試行実験を行い、未来ビジョンを市民や来街者で共有することを目的とします。実行委員会を立ち上げ、オープンプロセスな具体化検討を開始予定です。委員会参加、出店、出資、来場等、皆さんの「自分ゴト」を結集し、イベントを成功させましょう!

駐車場のサードプレイス化 “Parking PARK”
無数に点在する、街なか駐車場のサードプレイス化の実験



試行・実証実験の計画案

今後の協議会検討スケジュール

1. **課題の抽出、検討体制、実現可能性の検討**

今あるものを 可視化する ○→●	今あるものを 強化する ●→●	STEP3 今ないものを 創造する ◌→●

まちの担い手・行動支援・交通計画・道路空間活用・居住施策・遊休地活用・PR・資金etc

2. **試行・実証実験にむけた企画検討、議論開始**
3. **試行・実証実験の実施(2021年秋)**
4. **市民、官民関係者の意見聴取**
5. **未来ビジョンの公開(2022年春)**

本未来ビジョン素案は、2022年春に予定する未来ビジョンの確定にむけ、実現可能性を高めるための検討を継続します。実証実験等を通じ、意見聴取を行います。

実証実験に参加頂ける方を募集します!

未来ビジョン案

シンポジウム当日の様子は、Youtubeにて動画を公開しています。本書とあわせ、ご覧頂いてのご意見・ご提案・ご感想などを、是非事務局までお寄せください。

事務局アドレス：mitonomachinaka@gmail.com

▲水戸まちなかチャンネル
未来ビジョン全編公開中

試行・実証実験 (2021年秋頃実施予定)

2021年秋実施を目指す実証実験に向けた実行委員会を立ち上げ、企画・検討をこの4月より開始します。詳細は、協議会SNSページをご確認ください。

協議会SNS (Facebook、Instagram、Twitter)

協議会の活動を随時、情報更新していきます。是非、フォローをお願い致します。
SNSアカウント：水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会　@mitonomachinaka

2021.3.31　Vol.06　発行：水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会事務局(株式会社まちみとラボ) 水戸市南町1-2-32 M-WORKビル Tel.029-388-1580　編集：同協議会 魅力発信・デザイン検討委員会、TRIX MAG.編集部

まちみとラボが提案する水戸のキュレート・ポータルサイト「TRIX MAG[トリックスマガジン]」

「TRIX MAG[トリックスマガジン]」では、まちなかで活動する各分野のキーマンのコラムやMapiNavi[マピナビ]編集部による特集記事を中心に、ピックアップイベントの紹介、今日明日・週末のイベントがピンポイントで検索できるイベントサーチ、バイリンガルの水戸の観光案内情報など様々なコンテンツをご用意しています。ぜひ、ブックマークしてみてください。イベント情報もぜひお寄せください。

タイアップ記事広告、バナー広告スポンサー募集中!／掲載イベント受付中! http://trix-mag.com/?page_id=325

http://www.trix-mag.com

スマホ対応!

ブックマークをお願いします!

水戸のまちをもっと楽しむ

PROJECT SUMMARY

近年、水戸まちなかの空洞化が深刻化

水戸駅北側中心市街地（＝水戸まちなか）は、江戸徳川御三家の城下町に端を発し、前橋・宇都宮・甲府と並ぶ東京から約100キロの広域都市圏として文化・経済の中心を担ってきた。国道50号大通りを軸に、主要企業や百貨店、個人商店が連なる水戸まちなかは、市民にとって文字通り「ハレの場」であった。

しかし近年、水戸まちなかの空洞化が深刻化。歩行者通行量は最盛期の1/3、小売販売額の市総額割合は1/2、路線価は全国で唯一下落。駐車場、空き店舗、空地が目立つ。人々は、まちなかを中心にドーナツ状に拡がる郊外住宅地に住み、まちなかは通過経路になった。ウォーカブルな街なかの実現には、ライフスタイル、交通、住宅や商業立地など都市機能などの、抜本的変革が必要である。

水戸まちなかの可能性＝独自の都市構造“ISLAND CITY”

HISTORY	歴史（水戸城跡）と地形（台地と湿地）の融合から生れた、400年以上続く骨格
GREEN	街なかと大規模な水・みどりが近い都市
INFRASTRUCTURE	街なかに集積する暮らしの機能（災害強靭性、業務・商業、公共交通・施設）
CULTURE	城下町が育んだ、時代を拓く「水戸っぽ」「魁」の思想と文化
CLIMATE+FOOD	高い日照時間・温暖、恵まれた立地と独自の食文化

高台市街地の水戸まちなかは本来、住み、働き、学び、遊ぶコンパクトな暮らしが実現しやすい場所。水戸独自の面白い都市構造を再認識し、車から人中心の街なかを取戻すラストチャンスと位置づけたい。

ターゲットとなる人々

街なかで生きる人、街なかで挑戦したい人

主体となる人々

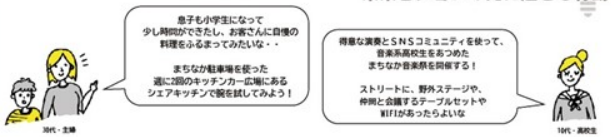
PLAYER
- 街なかで住む人、働く人、学ぶ人、遊ぶ人
- 街なかに関わり、挑戦したいことがある人
- 街なかを何とかしなくちゃ、と思っている人

応援する人々

FRIENDS
- 水戸に縁のある人で、街なかの再生を願っている人
- 水戸の再生を願い、ノウハウ・学術や財産を提供する人
  EX：市外に住む、水戸出身者、在京水戸出身者・関係者
- 水戸に縁はないけど、好意的に思ってくれている人

未来ビジョンのターゲットとなる人々は、すべての水戸まちなかで生きる人・挑戦したい人。主体となり行動を起こす人（＝プレイヤー）の発掘とともに、水戸まちなかの再生を願う多くの人（＝フレンズ）に応援してもらえる仕組みを創る。

未来ビジョンの先に起こる行動



まちなかに関わるみんなが「自分ゴト」で考える、街のためにもなる「やりたいこと」「得意なこと」「好きなこと」を挑戦できるまちなかを目指す。新しい水戸っぽライフは、主体的な行動による前向きな社会実験の連続・連鎖から生まれる。

私たちの水戸っぽライフ まちなか再生計画

DRAFT

未来ビジョンのコンセプト案

MITO LIVING ISLAND

-挑戦心を育む、コンパクトなまちなか暮らしを取り戻す-

【現状の水戸まちなか】

- Street for automobile — 車のための街なか
- Not friendly to Walker — 歩行者に優しくない街なか
- Not Smile street — 笑顔が少ない、閉された街なか
- Parking City — 増えすぎた虫食い駐車場
- Ghost City — 空洞化したかつてのハレの場

【未来ビジョンの基本方針】

- Street for Peoples — 人々のための街なか
- Friendly to Walker — 歩行者に優しい街なか
- Smile street — 笑顔で溢れる、開かれた街なか
- Park City — 居場所の多い街なか
- Lively City — 職住遊学MIXした、日常を生きる街なか

まちを創るのは人。誰もがもつ、何かを変えたり創造したい気持ちから、行動が生まれ、まちは元気になる。私たちが目指す水戸まちなかは、「誰もが持っている挑戦心を育む街」。賑わいのある都市空間に溢れる「偶発的な出会い」「予期せぬきっかけ」から、五感が刺激され、アイディアをひらめき、仲間が共鳴する瞬間がある。そのために、車から人中心の、住み・働き・学び・遊ぶ、水戸っぽライフスタイルを実現する。

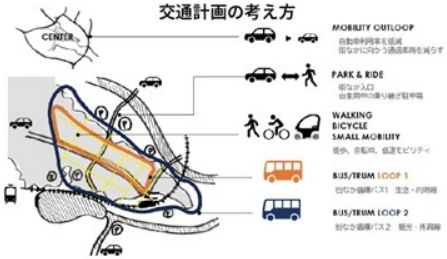
コンパクトシティとストリートデザイン、2軸から成る、空間と仕組みの提案方針

都市構造の考え方

	ISLAND CITY	SPROLL CITY	LIVING ISLAND
	-1603 中世	-1889 近世 人口増加時代	-2020 近現代	-2060 将来 人口減少時代
まちなか人口	約14,000人	約6,800人	約10,000人（仮）
まちなか人口密度(人/ha)	約90人/ha	約43人/ha	約65人/ha
参考：日本の人口	約3,900万人	約12,700万人	約8,700万人

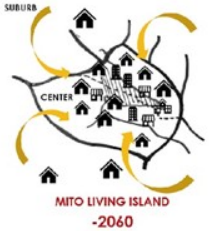
中世より続く馬の背高台市街地を街なかの領域性と再認識し、居住を誘導する「LIVING ISLAND」とする

交通計画の考え方



流入車両を規制し、公共交通と徒歩を中心とした便利で快適な仕組みを作る

都市機能の考え方



職住学商の用途混在・融合地区にする

住まう空間と仕組み

改修住居や助成制度も拡充させ
街なか暮らしの選択肢を増やす

働き、遊び、学ぶ空間と仕組み

多様な働き方を受け容れる場、
遊び・学びの場を屋内外に用意する

2. 令和3年度の事業報告

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

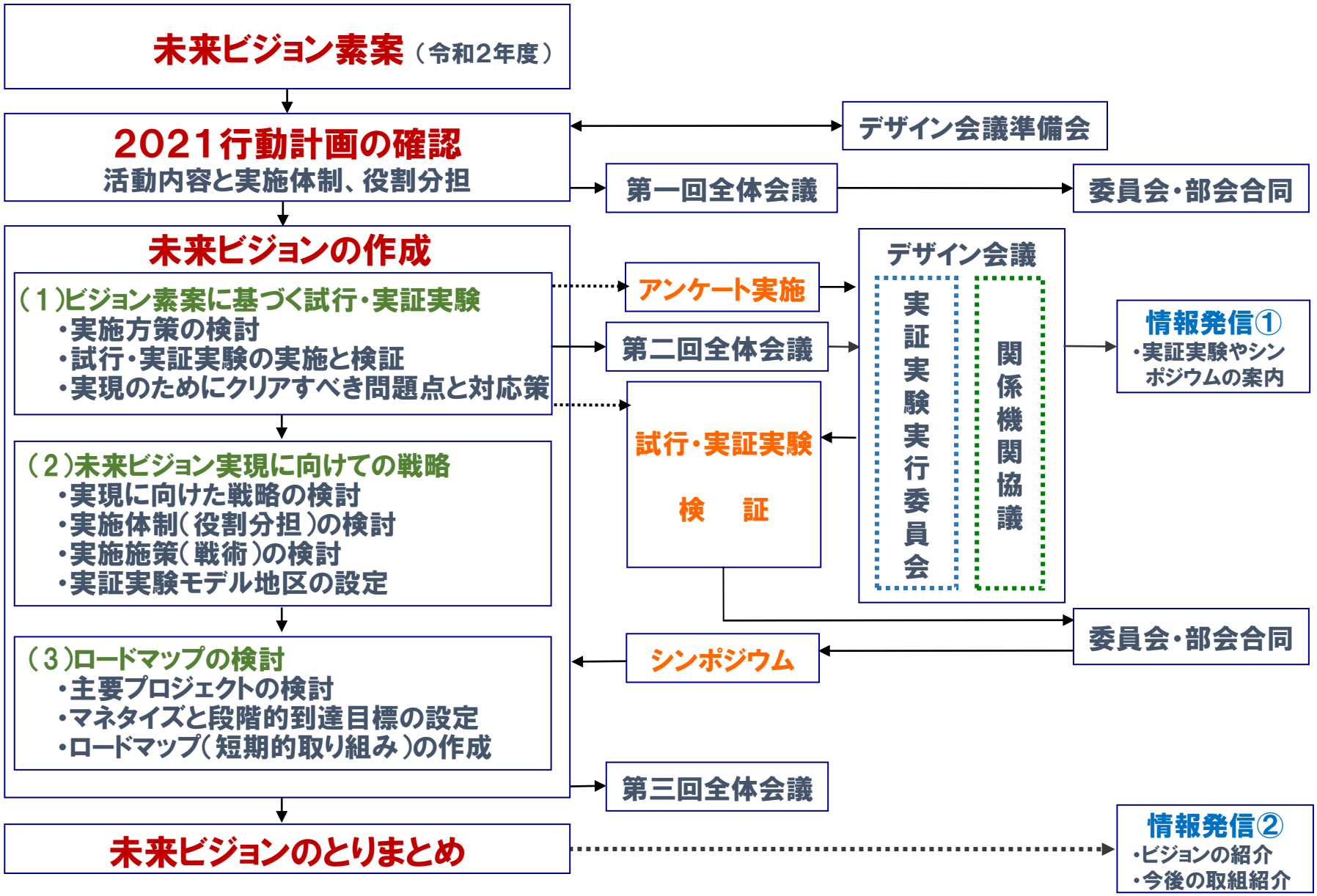
2021.5.25

協議会の令和3年度第1回全体会議を開催しました！

水戸芸術館の会場場にて、オンライン参加も併用して開催！
昨年度の事業報告・収支決算と、今年度の事業計画・収支予算について審議・承認頂きました。
今年度は「未来ビジョン素案」を「未来ビジョン」へと磨き上げていく段階。
そのために、ビジョン素案を検証するための**試行・実証実験の実施**と、
ロードマップを作成します。
試行・実証実験については、**検証すべきデータの取り方等**、貴重なご意見をたくさん頂戴しました。また、協議会としての取り組み自体を、いかにして**持続可能なもの**にしていくかも重要です。

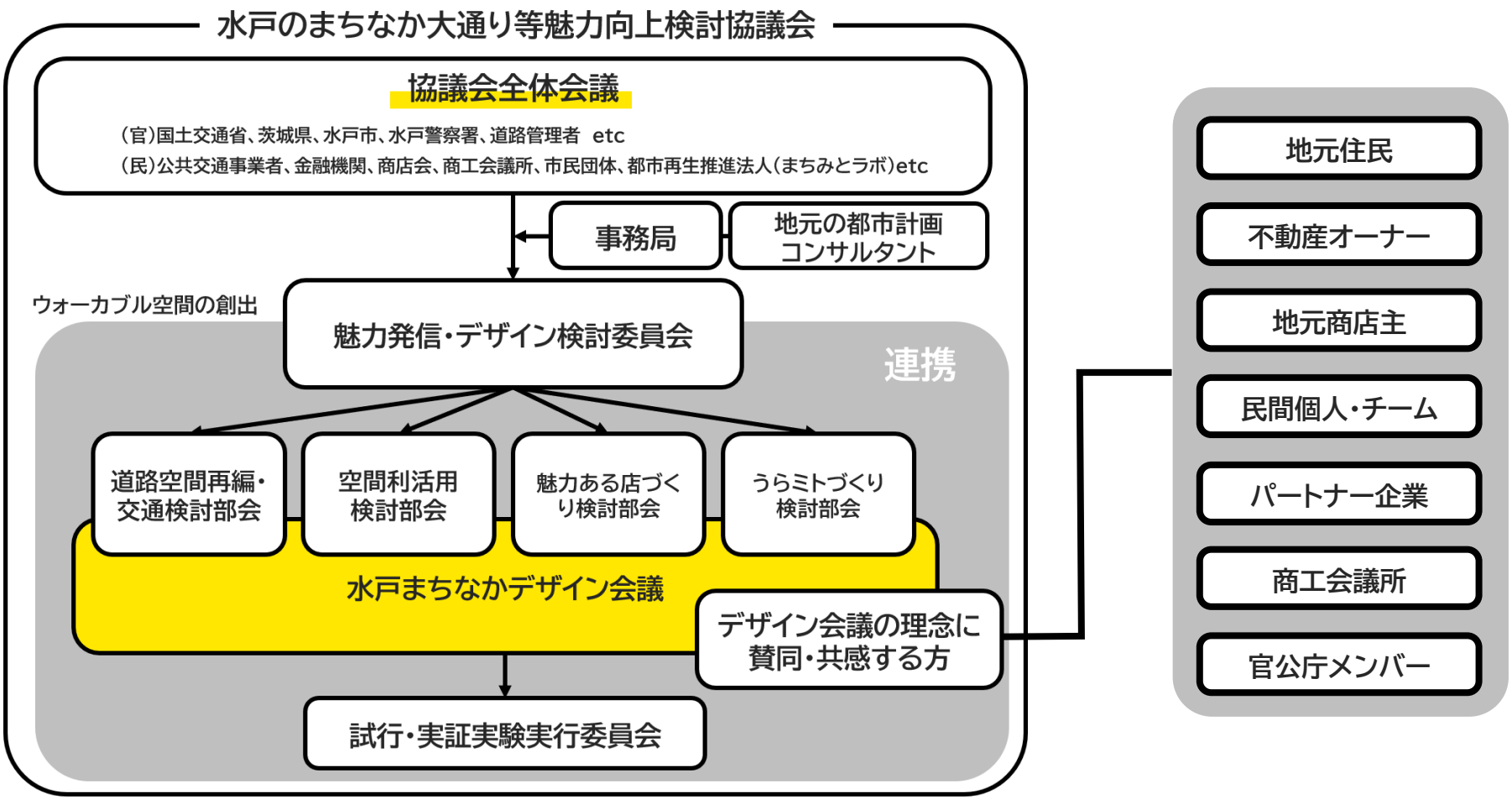
©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和3年度事業の流れ



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和3年度の全体体制図



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

全体会議やデザイン会議等の開催状況

令和3年	4月 1日(金)	令和3年度官民連携都市再生推進事業費補助金内定
	4月 7日(水)	金会長事前協議 水戸まちなかデザイン会議準備会
	4月14日(水)	高橋靖水戸市長への取り組み概要説明 事務局会議
	4月20日(火)	南町2丁目商店街振興組合通常総会での説明
	4月22日(木)	水戸市建設部長への概要説明
	4月26日(月)	事務局会議
	5月 7日(金)	水戸まちなかデザイン会議準備会
	5月12日(水)	令和2年度の会計監査
	5月18日(火)	南町2丁目商店街振興組合黒澤理事長協議 水戸まちなかアンケート配布開始(1万部)
	5月19日(水)	丸の内仲通り「Marunouchi Street Park」ヒアリング
	5月22日(土)	第一回水戸まちなかデザイン会議
	5月24日(月)	全体会議事前説明(常陸河川国道事務所、茨城県、水戸市)
	5月25日(火)	第一回全体会議
	5月31日(月)	国土交通省ヒアリング(コモンズ協定やスポンジ化等について)
	6月 1日(火)	事務局会議
	6月 6日(日)	第二回水戸まちなかデザイン会議
	6月10日(木)	事務局会議
	6月14日(月)	タクティカルアーバニズムの著者・西田司氏ヒアリング
	6月16日(水)	南町2丁目商店街振興組合黒澤理事長・薄井理事協議
	6月19日(土)	水戸読売会館オーナーの畑山一郎氏協議
	6月23日(水)	コアメンバー会議
	6月25日(金)	第三回水戸まちなかデザイン会議
	7月 5日(月)	コアメンバー会議
	7月 8日(木)	広報戦略会議
	7月10日(土)	第四回水戸まちなかデザイン会議
	7月14日(水)	墨田区役所都市整備部の立体化推進課長・戸梶大氏ヒアリング
	7月19日(月)	コアメンバー会議
	7月26日(月)	アーティスト・聴景デザインナーの神山健太氏による現地調査

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

全体会議やデザイン会議等の開催状況

令和3年	7月28日(水)	第五回水戸まちなかデザイン会議
		コアメンバー会議
	7月30日(金)	裏通りの交通安全性向上・車両減速に関する協議
	8月 3日(火)	水戸市都市計画課との協議(次年度対応)
		南町2丁目商店街振興組合理事会での説明
	8月 4日(水)	水戸市都市計画課との協議(次年度対応)
	8月 8日(日)	コイズミ照明の水戸営業所長・安藤氏による現地調査
	8月10日(火)	畑山一郎氏によるプロジェクトZ(ごみゼロ大作戦)プレゼン
	8月11日(水)	コアメンバー会議
	8月19日(木)	水戸市執行部協議(次年度対応)
	8月22日(日)	第六回水戸まちなかデザイン会議
		コアメンバー会議
	8月26日(木)	いばらきデザインセレクションにエントリー
		南2商店会館にてデータ取得関連現地調査
	8月31日(水)	第二回全体会議
	9月 2日(木)	コアメンバー会議
	9月12日(日)	第七回水戸まちなかデザイン会議
	9月19日(日)	第八回水戸まちなかデザイン会議
	9月21日(火)	白線の引き替え工事
	9月22日(水)	コアメンバー会議
	10月 3日(日)	第九回水戸まちなかデザイン会議
	10月 5日(火)	路面施工
	10月 9日(土)	第十回水戸まちなかデザイン会議
	10月 9日(土)	～31日(日)試行・実証実験「水戸まちなかリビング作戦」
	11月29日(月)	コアメンバー会議
	12月 5日(日)	第十一回水戸まちなかデザイン会議
令和4年	2月28日(月)	委員会・部会合同会議
	3月 2日(水)	シンポジウム事前調整会議
	3月 6日(日)	第二回水戸まちなかデザインシンポジウム
	3月13日(日)	第十二回水戸まちなかデザイン会議
	3月28日(月)	第三回全体会議

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

2021.8.31

協議会の第2回全体会議を開催しました！

協議会の令和3年度第2回全体会議をオンラインで行いました。

今回、試行・実証実験の概要案を確認し、
プロジェクトの最新状況と今後の展望について出席者の皆さんから、
多くの意見が寄せられ、議論が深まりました。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

水戸まちなかデザイン会議による共創プロセス

「水戸まちなかデザイン会議」の振り返り

第1回　2021.5.22
現地参加者 37名　オンライン参加者 19名

初回にもかかわらず高校生・大学生から不動産オーナー、行政職員まで多彩なメンバーが集まりました。デザイン会議の目的や理念を共有し、水戸まちなかの再生を目指す仲間とともに歩み始めます。

第2回　2021.6.6
現地参加者 30名　オンライン参加者 9名

グループに分かれてまち歩きを実施！
実験に向けて「今ある屋外空間を少し整えて使ってみる」という視点で空間活用に向けた改善方法を検討しました。

第3回　2021.6.25
オンライン参加者 33名

ゲストに建築家の西田司さんを招いて都市空間の活用や実証実験に関する勉強会を実施！小さい取り組みを反復し、修正しながら長期的に大きなアクションにしていく「タクティカルアーバニズム」の考え方を教えていただきました！

第4回　2021.7.10
現地参加者 40名　オンライン参加者 5名

6月のデザイン会議を踏まえて検討した試行・実証実験の計画案を共有。実験候補地を見て回り、沿道のビルオーナーである杉浦さんと畑山さんからは各自の取り組みをご紹介いただきました。

第5回　2021.7.28
オンライン参加者 30名

ゲストに墨田区役所職員の戸梶大さんを招いて、自身が実践した公共空間マネジメントに関する勉強会を実施！行政職員自らが公共空間を活用する「そよ風会議」などの経験談をもとに、行政がコンシェルジュ的に動くことで公共空間の活用が促進できることを教えていただきました。

第6回　2021.8.22
オンライン参加者 53名

ロゴや配色などを定めたデザインガイドラインやブラッシュアップした実験計画案を共有。デザイン会議メンバーによる空間活用案（まちなかチャレンジ）のプレゼン大会では、14件の提案がありました！

第7回　2021.9.12
現地参加者 37名

10月の実験に向けて会場づくりのワークショップを実施。西洋倶楽部ビルの床とテーブルをキレイに磨いたり、ドッグラン予定地の空地の除草作業をしたり、周辺一帯のゴミ拾いをしたりとみんなでまちなかをキレイにしました！
キーフレーズ：自分たちで頑張ってキレイにした場所は愛着がわくね

第8回　2021.9.19
現地参加者 23名

第７回に続き西洋倶楽部ビルの清掃を行い、キレイな空間へと仕上げました！
テーブルにはニス塗装を施し、見違えるほどキレイになりました。

2021.9.21

白線の引き替え工事を実施！65cmしかなく場所によっては電柱で行き止まりになってしまう歩行者空間を1m35cmに拡張するよう白線を引き替えました！(水戸市による本設工事)

第9回　2021.10.3
現地参加者 27名

実験会場づくりのワークショップ第3弾としてAT-WORKビル屋上と南町２丁目裏通りの壁面などを清掃しました。10月とは思えないくらいの陽気で皆さん汗をかきながらの作業でした。

2021.10.5

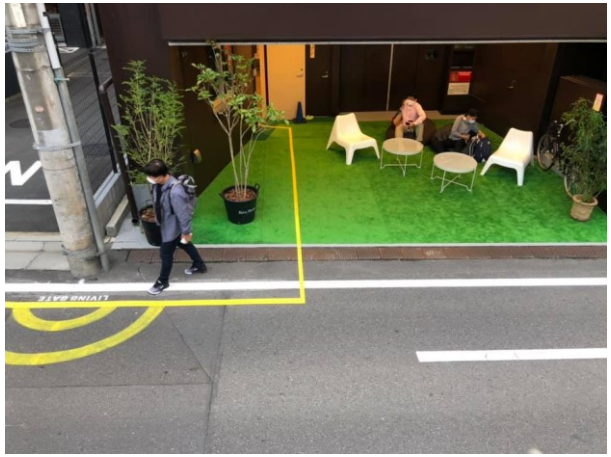
歩行者の誘導と車両の減速効果を狙った路面サインを設置！また通行量観測用のカメラの設置や実験会場の電気工事などを実施しました。

第10回　2021.10.9
現地参加者 22名

実験会場づくりの最終仕上げ！みんなで協力してエリア内の各会場を仕上げていきました。一日がかりの作業になりましたが無事に会場を完成させることが出来ました！

「水戸まちなかリビング作戦」2021.10.9～31

今回の実験は未来ビジョン素案の妥当性を検証し、実験結果をフィードバックすることで未来ビジョンを完成させることが目的です。水戸のまちなかで人中心の歩きたくなるまちなかづくり、快適な屋外空間づくりは需要があるのかどうか、またそういった空間形成において利用者との協働や「水戸まちなかデザイン会議」のような市民参画型のプロセスは適しているのかどうか、この２点が大きな検証ポイントです。また、来年度以降に実施していく社会実験に備えたシミュレーションといった側面もあり、検証方法については様々な手法を取り入れて効果的な手法を探ったり、空間を活用した各個人の自主提案企画である「まちなかチャレンジ」を展開する過程で、挑戦心を育むまちなかづくりに向けた支援施策やサポート体制、企画実施のガイドラインを検討したりといった検証も行いました。



試行・実証実験スタート！

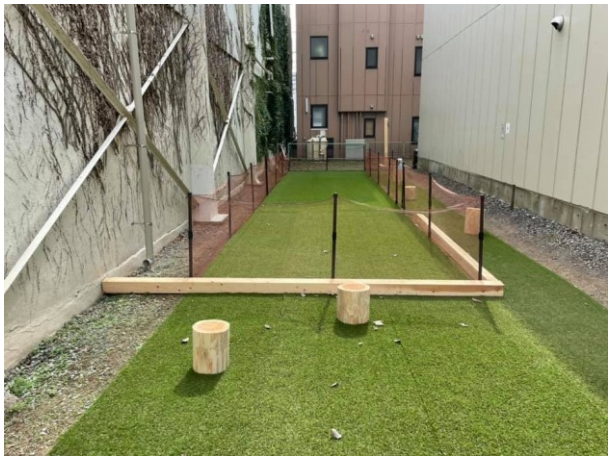
ストリートサインの設置

（2021年10月9日～31日）

試行・実証実験スタート！

居心地の良い場づくり

（2021年10月9日～31日）



試行・実証実験スタート！

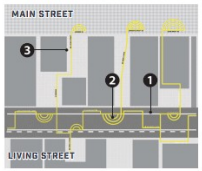
空間の利活用
（まちなかチャレンジ）

（2021年10月9日～31日）

検証結果

ストリートサインによる歩行者や車両への効果

ストリートサイン実験概要



安心して歩ける裏通りへ。
❶白線移設による歩行者空間の拡張（0.65m→1.35m）
❷車両に減速・注意を促す黄色ライン（半円の路面サイン）
❸まち歩きを促す黄色ライン（直線の路面サイン）

の3つを同時に実現するストリートサインの実験です。

歩行者視点

実験以前(白線移設前)の歩きやすさ (N=124)

48.4% の歩行者が歩きにくい

変化なし:10.5%、歩きやすい:21.0%

白線の移設や黄色ライン後の歩きやすさ (N=124)

42.7% の歩行者が歩きやすい

変化なし:46.8%、速度促進:10.5%

ドライバー視点

平均速度(ETC2.0データ)

1.1km/h減少 17.6km/h → 16.5km/h

検証箇所:南町2丁目裏通り

車両速度

25km/h以上の割合減少

検証箇所:南町2丁目裏通り

白線の移設による車両速度変化(N=77)

37.7%の車両が速度抑制

変化なし:61.0%、速度促進:1.3%

黄色ラインによる車両速度変化(N=77)

36.4%の車両が速度抑制

変化なし:62.3%、速度促進:1.3%

黄色ラインによる歩行者への注意意識(N=77)

45.5%の車両が意識向上

変化なし:53.2%、速度促進:1.3%

来場者へのアンケート・ヒアリングから見る試行・実証実験に対する評価

利用者

実験会場利用満足度(N=46)

93.5%

実験期間後も97.8%が継続して利用したい

未来ビジョン素案の共感度(N=113)

78.8% 分からない:20.4% 共感しない:0.9%

5-6月実施のアンケートでは約60%の支持

取り組みの継続希望(N=113)

居住地・通勤通学地が水戸のまちなかであるかに関わらず継続を希望する声 **92.9%**

将来(60歳以降)の暮らし(N=113)

徒歩中心のまちなか **85.0%** 車中心の郊外部 **15.0%**

多くの方が徒歩中心のまちなか暮らしを選択

Q 実験が始まってから生活に何か変化はありましたか?

A
- まちなかに出る回数が増えた。
- 子どもと自由広場でおやつを食べるようになった。
- 子供がまちなかで遊ぶようになった。(LIVING PARKなど)
- あまり散歩で歩きたがらない犬を放せるので、ここ(DOG LIVING)に来るのが日課になった。
- 知り合いが増えた、友達に会った。
- LIVING PASSAGEを通って裏通りも通るようになった。
- 歩くことで車からでは気づかなかったまちの変化に気づいた。
- 車のスピードを落とすようになった。
- 黄色の線が気になるようになった。

など

商店主(南町2・3丁目大通り、南町2丁目裏通り)

人通りの変化(N=33)

42.4% の商店が「増えた」と回答

変化なし:57.6%、減少:0.0%

来客数の変化(N=33)

18.2% の商店が「増えた」と回答

変化なし:81.8%、減少:0.0%

検証結果

●ストリートサインによる歩行者や車両への効果

Wi-FiやAI画像解析など最新テクノロジー等を活用して、多様なデータによる分析を行いました。解析結果として全体的に歩きやすい道路空間に寄与した傾向が確認されました。

●来場者へのアンケート・ヒアリングから見る試行・実証実験に対する評価

来場者の取り組みへの満足度は高く、継続の要望・期待の高さが見受けられました。本実験をきっかけに新たなコミュニティやまちなかに出る機会が生まれ、まちなかの新たな可能性・日常の魅力を感じていただけたと考えられます。

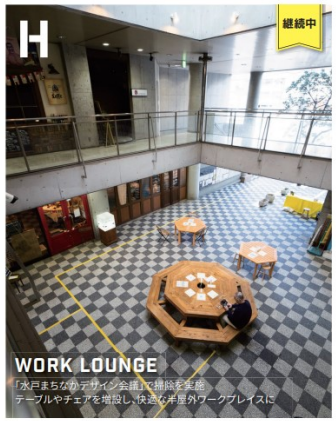
取り組みに対する否定的な声はごくわずかだった一方で「分からない」という回答が一定数確認され、まちなか居住者・事業者の方々には、このような取り組みが「自分ゴト」になるまでには至っていない面もみられました。今後、より丁寧に取り組みの趣旨をお伝えし、共感の輪を広げていく必要があります。

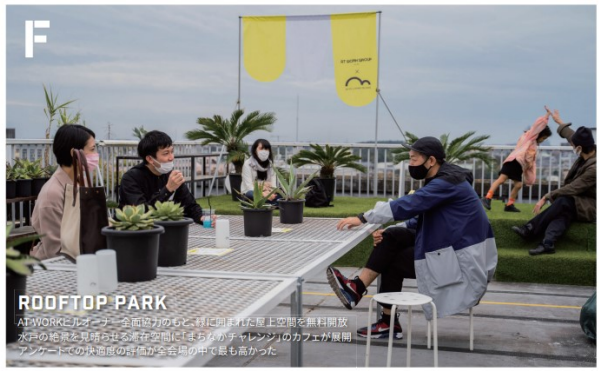
●詳細はこちらから

シンポジウムの様子はYouTubeチャンネルにて配信中

「水戸まちなかリビング作戦」PR動画公開中

「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」HP(実験概要・検討体制・協力企業一覧)





Photograph:Graphy Inc.新井達也

2022.3.6

第二回水戸まちなかデザインシンポジウムを開催！

昨年に引き続き、「水戸まちなかデザインシンポジウム」をオンラインで開催。
秋に実施したデザイン会議や試行・実証実験「水戸まちなかリビング作戦」の報告と、実験関係者によるトークセッション「実証実験裏話」、そして地元住民・行政・協議会関係者が今後の展望を語るトークセッション。

継続的な社会実験の必要性や持続可能な組織づくり、SDGsなどへの対応等、今後に向けて貴重がご意見・ご提案がありました。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

シンポジウムを踏まえての課題

諦めずに粘り強く

未来ビジョンは、今までの行政計画とは一味も二味も違う。社会実験は短期間・少ない資金の中でよくできた。いろいろな問題や課題があり、それを乗り越えてここまできた。今後も諦めずに粘り強く乗り越えていきたい。

関心・共感の輪を広げよう

自分ごととして関心・共感の輪を広げたい。関係者の本音を丁寧に拾い、共通の想いや目的の核心を伝え、共感を広げる必要がある。まちなかで子供が成長し、大人が暮らしを楽しみ、高齢者が人生を全うする姿が分かるように。

カーボンニュートラル・脱炭素・SDGsへの対応を

待ったなしの脱炭素、2050年のカーボンニュートラルを位置付ける必要がある。まちなかからサスティナブル水戸・サスティナブル茨城へ貢献したい。ここから全国へ貢献できたなら、まさに「魁」に相応しい。まさに水戸のまちなかの挑戦である。水戸のまちなかの取り組みは「脱炭素＋」で。ビジョンは深化させていく必要がある。

社会実験の継続を

社会実験では、イベントではない、新しいまちなかを創っているということを伝えたい。今回の実験の場で、見える形で継続することが大事。少ない予算で定期的に行い、事業効果が見えるように。

持続可能な人・組織・資金の仕組みを

持続可能な人・組織・資金の仕組みを構築する必要がある。関わった人が楽しくなるように。楽しく、対話、寛容、ダメ・出来ないと考えない、言わない、失敗・失敗者を歓迎する、成功も失敗もデータもオープン化する、プロセス自体も成果だ、新しい社会は＝新しい仕事、地区の価値を向上させることが自分の利益・自分の幸せに通じる、参加感・手応え感・報われ感を持てる仕組み。

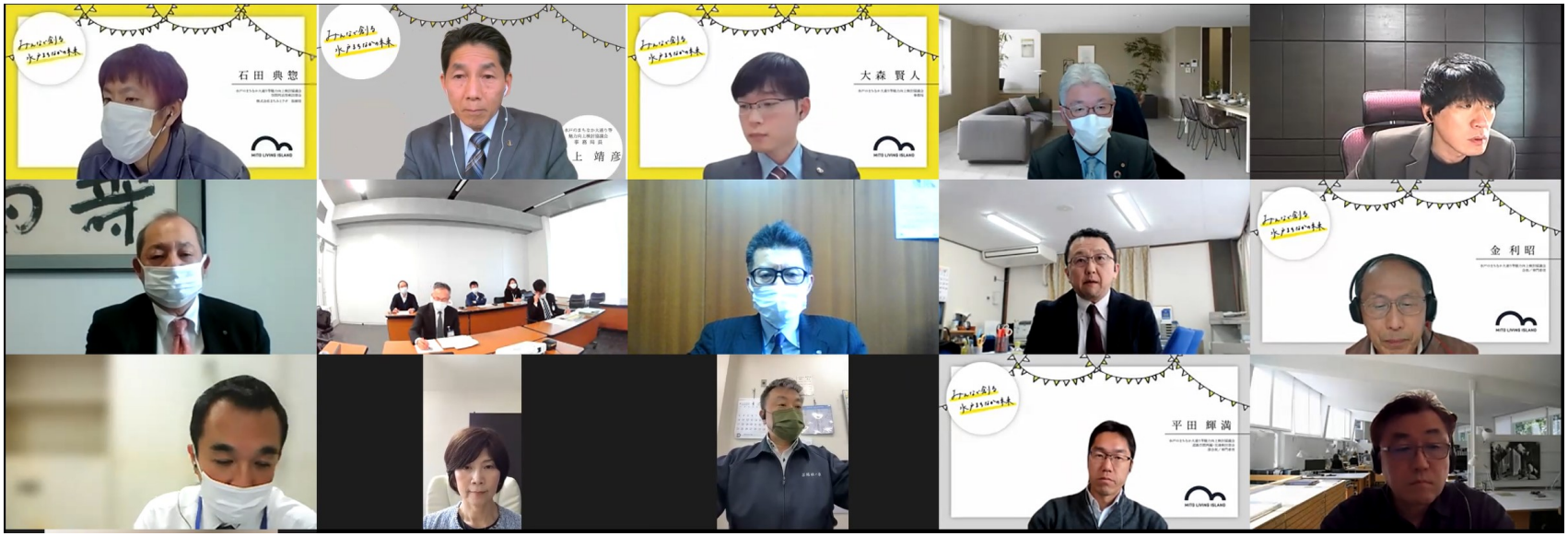
今の枠組みを壊して、前例のないことを

この取り組みは、新しいまちなか、新しい水戸の社会を創る、新しいまちなか文化を創造していること。今までと同じ枠組みからは挑戦は生まれず、新しいまちなかも文化も創れない。今の枠組みを壊して、前例のないことをやる。今まで無関係だった人が連携する。今の制度ではできないなら　制度を変えていい。垣根とか壁―経験・規則・慣習・制度等―を乗り越える（越境）。そのために多くの方の連携が必要である。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

2022.3.28

協議会の第3回全体会議を開催しました！



協議会の令和3年度第3回全体会議をオンラインで行いました。

まず、令和3年度の取り組みの振り返り、デザイン会議と試行・実証実験、検証結果について報告しました。
そして、それらを踏まえて改訂された未来ビジョンについて審議頂きました。
最後に、令和4年度の取り組み案を紹介しました。

今後、共感の輪をいかに広げていくか、また、今年度の成果を活かした社会実験のあり方等について、貴重なご意見を頂きました。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

未来ビジョン 「挑戦心を育む、コンパクトなまちなか暮らしを取り戻す」

課題のまとめ

- 歴史の中で育まれた水戸っぽのマインドを大切に
- 水戸らしいコンテンツの充実で居場所づくりを
- SDGsや人中心のまちづくりの社会的ニーズへの対応を
- 人中心のまちかにするための空間デザインを
- まちなかの用途や交通体系などの都市構造の改変を

まちなかの方向性

- 都市構造の改変でコンパクトシティの実現を
- ウォーカブルな空間づくりで居心地が良く歩きたくなるまちなかへ
- 挑戦心を育むまちなかへ

未来ビジョン
全編公開中

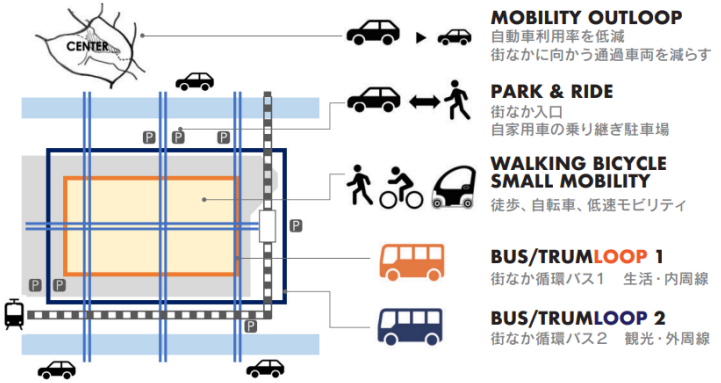
水戸のまちなか再生計画

CONCEPT

～私たちの水戸っぽライフ～
挑戦心を育む、コンパクトなまちなか暮らしを取り戻す

コンパクトシティの実現

交通体系の提案

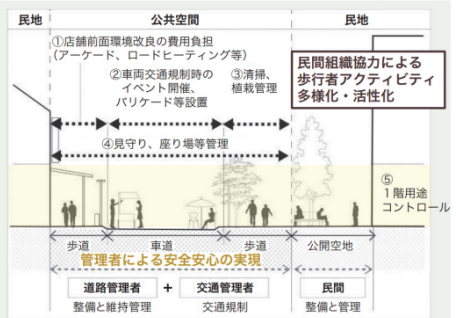


都市構造の変革

まちなか人口
約10,000人(約65人/ha)

まちなか人口
約6,800人(約43人/ha)

ウォーカブルな空間づくり



図：ストリートのデザインに関係する要素
出典：第１回ストリートデザイン懇談会　三浦委員資料

挑戦心を育むサイクル

3. 令和3年度の収支決算

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

収入・支出

（単位：円）

科目		補助事業に要する経費					
		区分					計
		国庫補助金	エリアプラットフォーム	地方公共団体	都市再生推進法人	民間事業者等	
収入		7,000,000					7,000,000
支出	人件費	50,000					50,000
	旅費	100,000					100,000
	庁費	6,850,000					6,850,000
	施設等整備費						
	その他						
	計	7,000,000					7,000,000

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

支出の内訳

（単位：円）

種別	科目	金額	区分	説明	合計金額
エリアプラットフォームの構築	人件費	30,000	賃金	全体会議(3 回)開催賃金 30,000 円	(1,050,000) 950,000
	旅費	60,000	旅費	全体会議事前説明(3 回)旅費日当 60,000 円	
	庁費	(960,000) 860,000	報奨金	全体会議(3 回)委員謝金 7 人分 360,000 円	
			需用費	シンポジウムチラシ等制作費 100,000 円、情報発信(冊子 2 回)400,000 円	
	施設等整備費				
	その他				
未来ビジョン等の策定	人件費	20,000	賃金	委員会・正副部会長会議開催賃金 20,000 円	(5,950,000) 6,050,000
	旅費	40,000	旅費	委員会・正副部会長会議旅費日当 40,000 円	
	庁費	(5,890,000) 5,990,000	報奨金	委員会・正副部会長会議委員謝金 80,000 円、デザイン会議委員謝金 600,000 円、関係機関協議委員謝金 100,000 円	
			需用費	デザイン会議案内チラシ制作費 80,000 円、試行・実証実験案内チラシ制作費 80,000 円、デザイン会議資料代 50,000 円	
			委託費	未来ビジョン策定委託費 2,000,000 円、 試行・実証実験委託費 3,000,000 円	
	施設等整備費				
	その他				
	合計	7,000,000			7,000,000

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

監査報告

監 査 報 告 書

令和４年５月 16 日

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

会長　　金　利昭　殿

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会の令和３年度（令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで）の会計帳簿及び関係証拠書類を照合審査した結果、計数及び証憑とも適正に表示されており、事務執行状況並びに会計事務処理は適切に行われていると認めたので、ここに報告します。

監　　事　　小田部　卓

内田　敏雄

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

4. 令和4年度の事業計画

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和3年度の成果と課題

成果

・未来ビジョンの素案の内容を検証するための試行・実証実験を実施し、
素案で提示した「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりについて、
概ね理解が得られていることが分かった。

課題

・従来からまちなかで暮らす方々や、まちなかへ通勤・通学する方々の多くが、
関心を持って実験に関わっていただくまでには至らなかった。
つまり、日常的にまちなかに関わりのある人たちにとって、
わざわざ出歩き回遊したくなる取り組みにはなっていなかった。

期待される取り組み

・イメージハンプだけではない工夫による「安全環境づくり」
・多くの方々に関心を持っていただくための「共感者づくり」
・居場所とコンテンツの充実による「賑わいづくり」
・持続的な取り組みを可能にする「組織づくり」。

この4つの取り組みで、「日常的にまちなかに関わりのある人たち」が、
まちなかの主人公として、まちなかを出歩き回遊したくなる仕組みを作ることが大切。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度の事業概要について

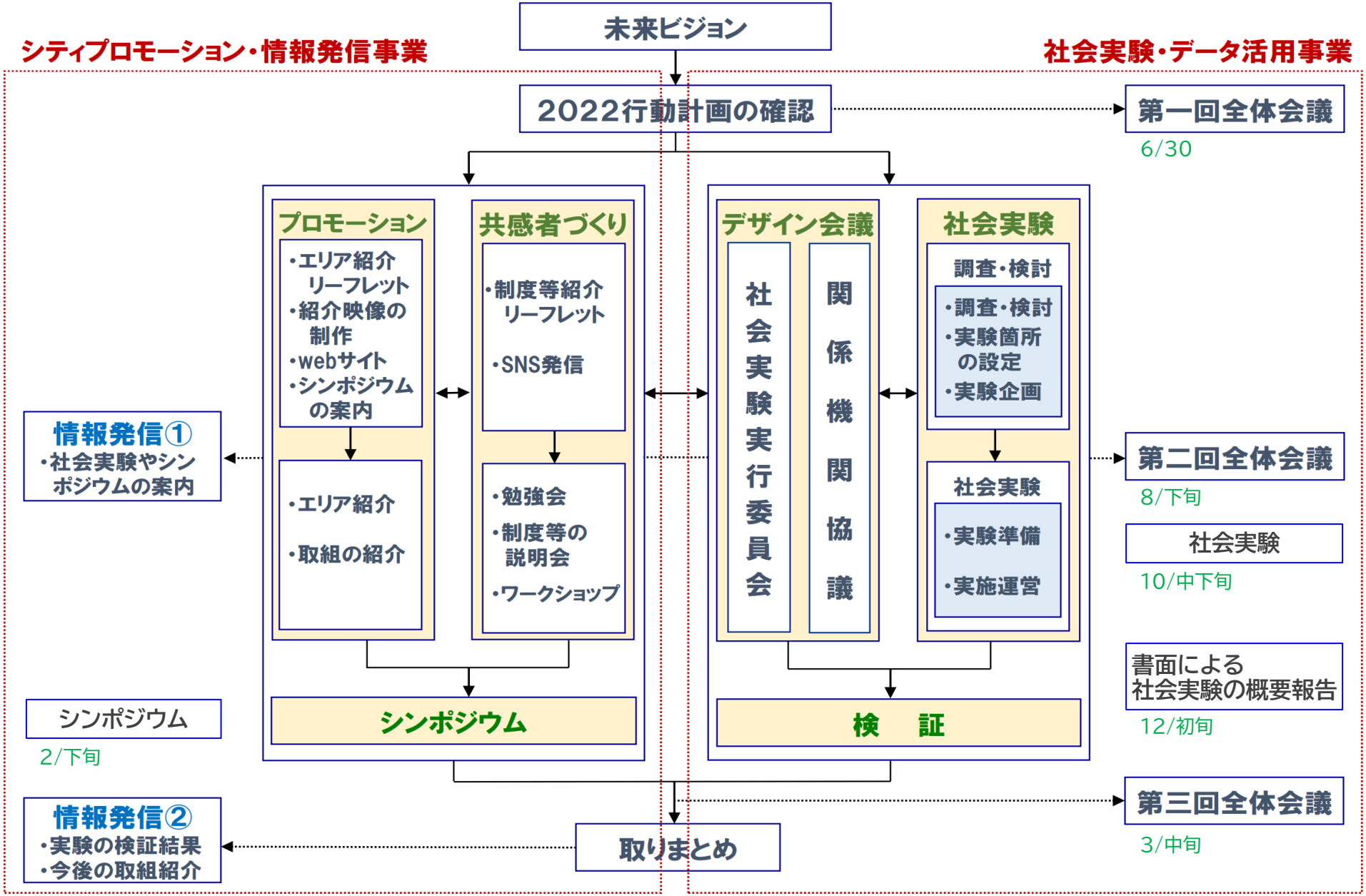
昨年度策定したビジョンの実現に向けて、
社会実験とシティプロモーションを実施する。

社会実験 ―未来を先取りし、再生を加速させる―
未来ビジョンで描いた社会の在り方・ライフスタイル（挑戦心を育む、水戸まちなか暮らし）に繋がる取り組みを期間限定で試行し、それぞれの取り組みの効果を検証する。有効性が高いものについては、各種制度も活用して実装を目指す。
水戸まちなかデザイン会議の仲間とともに実験内容について議論を深め、併せてデザイン会議メンバーが中心の**まちなかチャレンジ**を効果的に位置付けながら、我々自身が**挑戦している姿**を見せることも重要。

シティプロモーション ―仲間を増やし、ムーブメントを巻き起こす―
どれだけ価値のある取り組みでも認知されなければ無意味。
ビジョンに共感する仲間を増やし、水戸のまちなか再生に向けたムーブメントを確かなものとしていくために協議会の取り組みを広くPRする。
また、地元地権者に対してはより密な対応を行い、取り組みの主体としての意識を醸成する。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度の全体の流れ

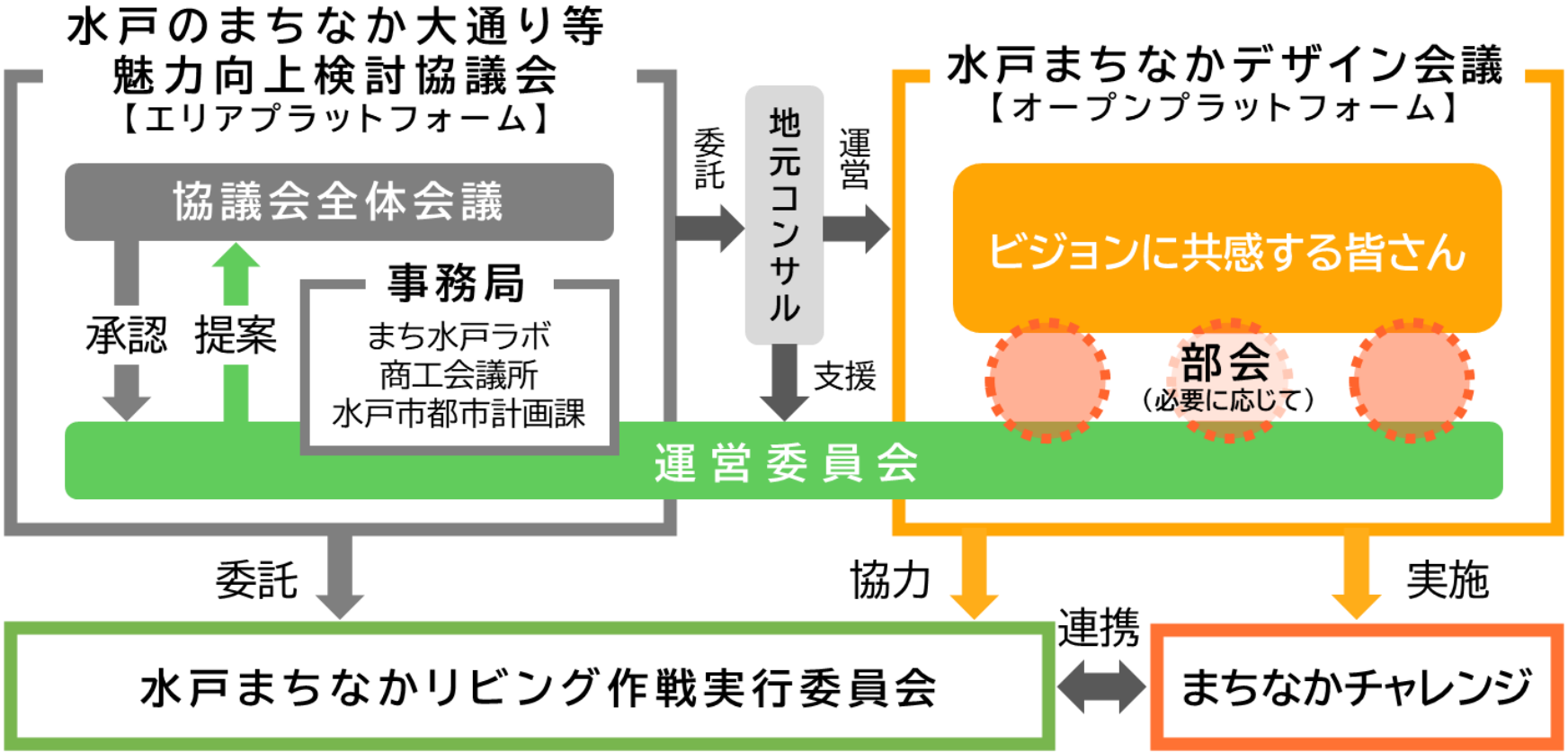


©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度の運営体制について

自分ゴトとして関与しやすい組織づくり

昨年度までのビジョン検討体制を発展的に解消。**事業推進**に適した体制に再構築し、旧部会メンバー・事務局を含む**運営委員会を新設**。運営委員会で事業の原案を作成し、水戸まちなかデザイン会議での議論を踏まえて調整したものを協議会へ提案・具体化する流れとする。部会については必要に応じてデザイン会議内に設置することとし、積極的な共感者が参画できる形とする。



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

社会実験とプロモーションのテーマ・内容について

国の補助制度上の制約として同一エリア・同一テーマ・同一内容で実験やプロモーションを実施することはできない。取り組みの成果を上げるためにも長期的視点に立って戦略的にテーマを設定していく必要がある。
（テーマを無駄に消費しないこと）

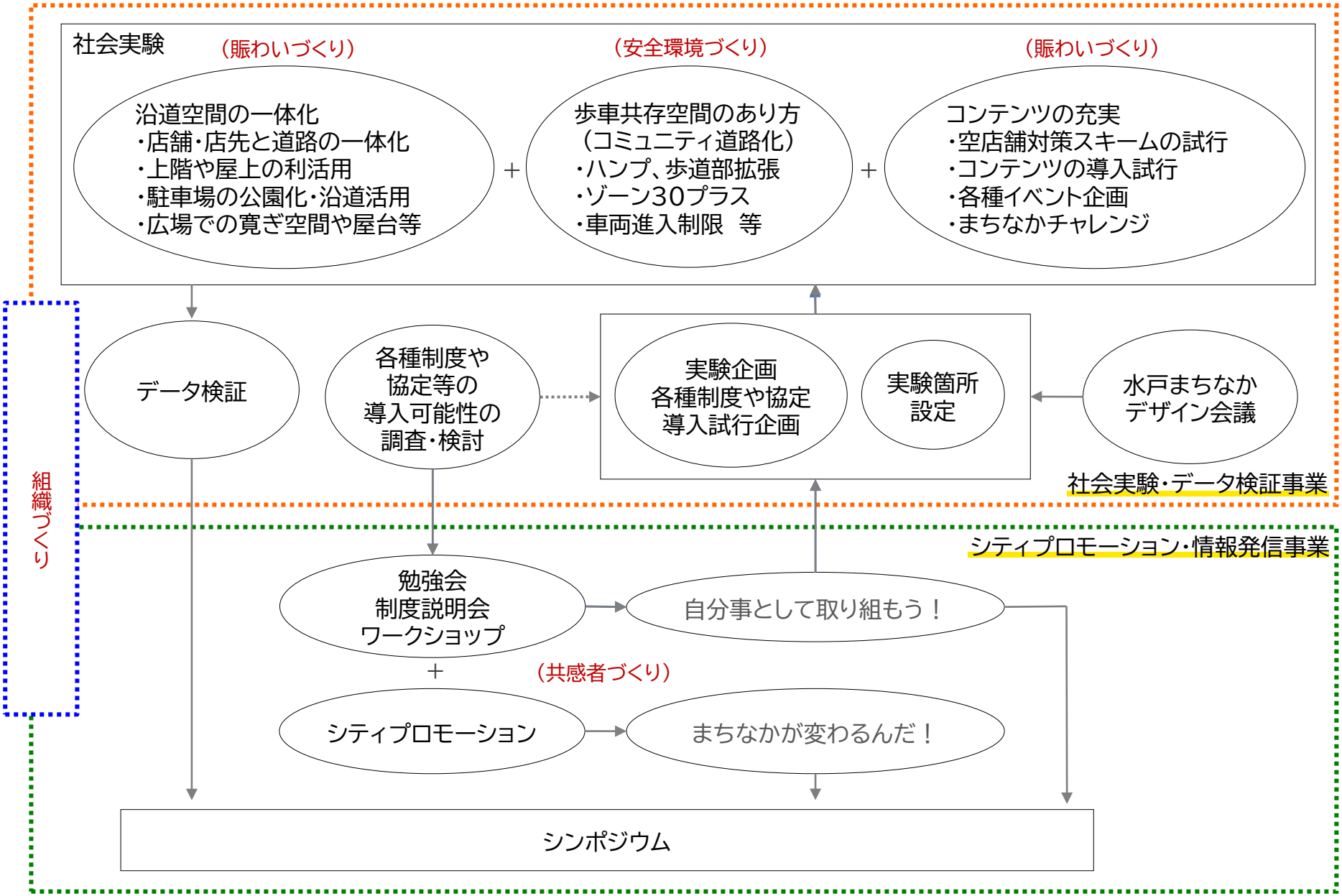
今年はビジョン策定を踏まえてのスタートの年。昨年度の取り組みを活かしつつ、まずは水戸まちなか再生のムーブメントを確かなものにするためにも、来年度以降も展開していく**取り組みのベースづくり（水戸っぽライフに不可欠な実験項目の整理や検討、運営組織づくり、地域との関係構築、共感者の獲得）**を進める。その上で来年度以降、ターゲットを絞った取り組みを上乗せしていくことで、基本的な変化の方向性を常に打ち出しつつ、特定のターゲットに刺さる取り組みを進めることができる。
※プロモーションの方法としてターゲット別にコンテンツを変えるのは今年度でも可能かもしれない。

テーマ案：水戸っぽライフ再生への道筋をつくる

キャッチコピー：みんなで作ろう、水戸まちなかの新しい日常

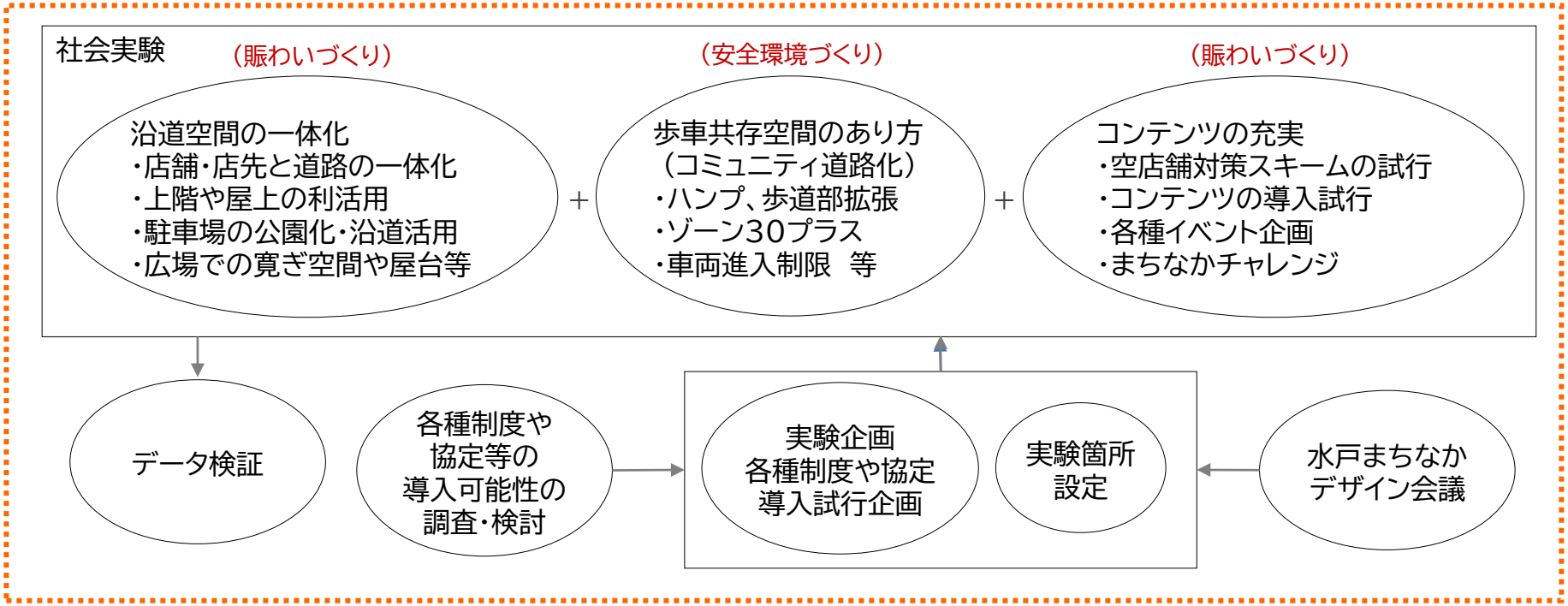
©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度事業の全体構成



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度事業の全体構成



【社会実験・データ検証事業】

・社会実験・データ検証事業は、昨年度同様、デザイン会議での議論をベースに内容を企画する。

・さらに今年度は、各種制度等の導入可能性についても検証してみる。

・上記2つを踏まえ、実験内容としては、安全環境づくりや賑わいづくりを目指す。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度事業の全体構成

【シティプロモーション・情報発信事業】

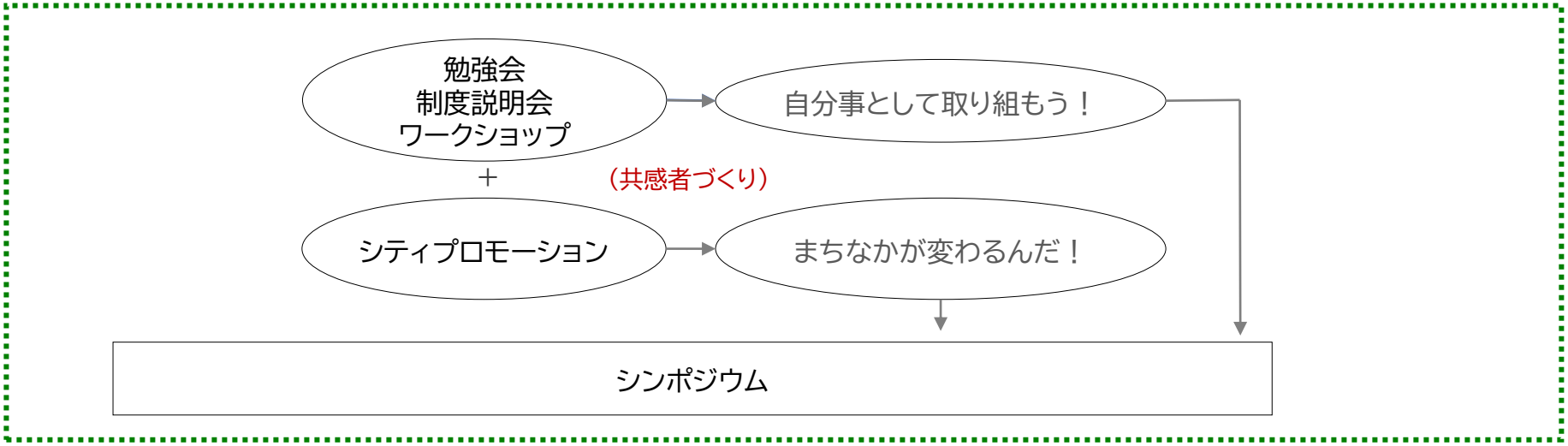
・シティプロモーション・情報発信事業は、共感者づくりを目指す。

・1つは、地元向けの勉強会や制度説明会、ワークショップなどによる共感者づくり。

（この成果は、社会実験の中の「各種制度等の導入可能性についての検証」に活かす）

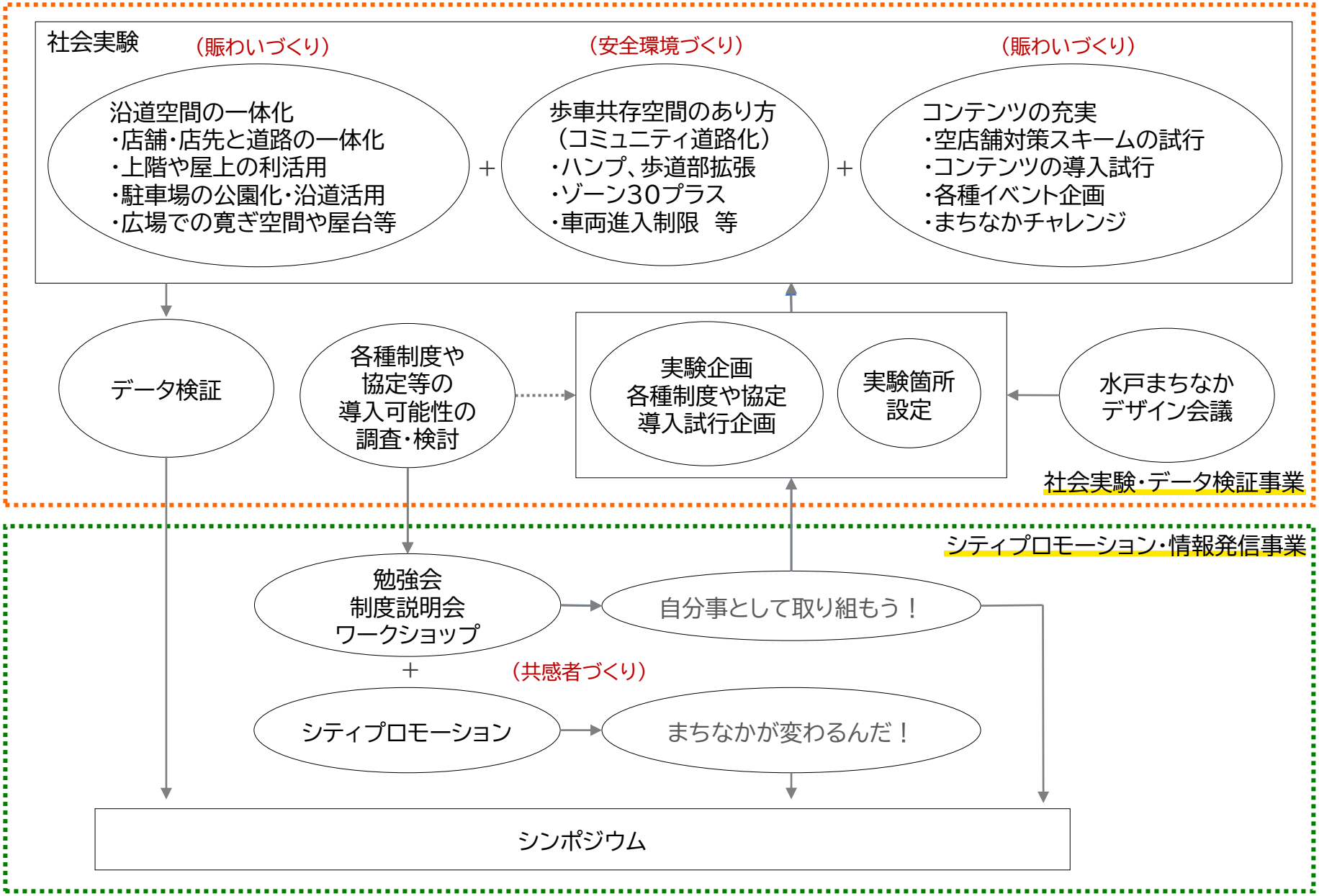
・もう1つは、市民向けのシティプロモーション。

・これらの成果と社会実験の検証結果を踏まえ、シンポジウムを実施する。



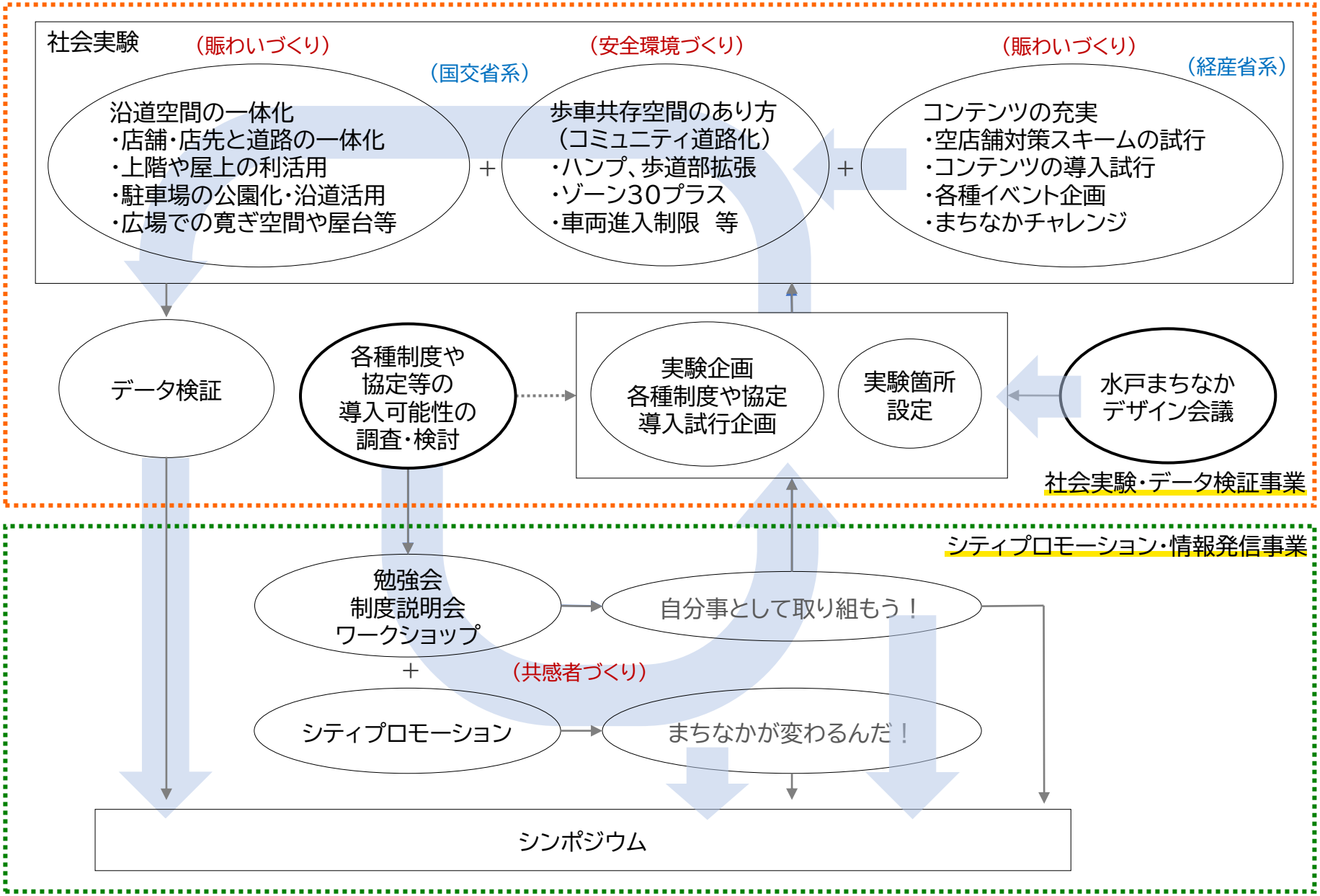
©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度事業の全体構成



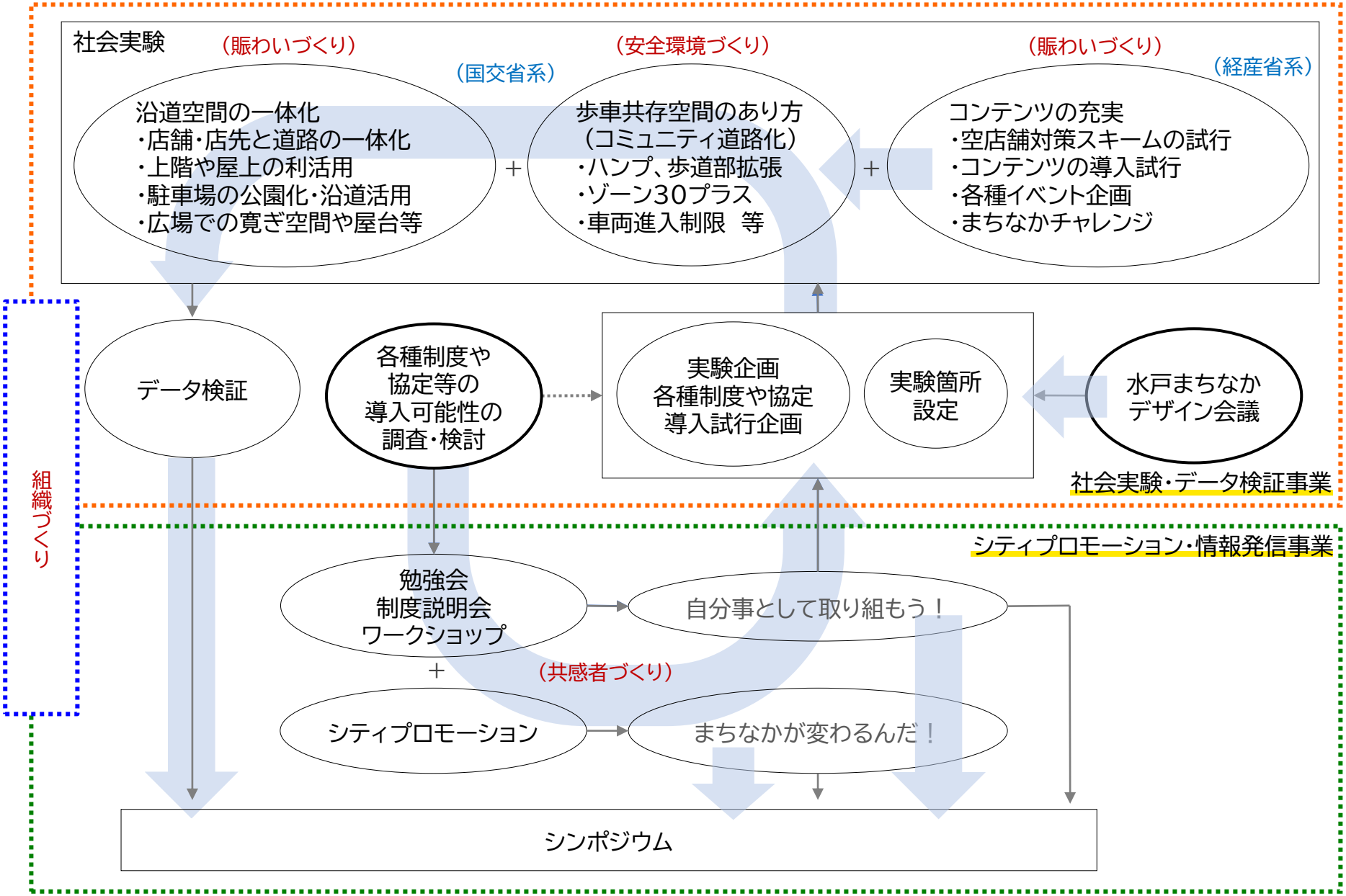
©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度事業の全体構成



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

令和4年度事業の全体構成



©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

社会実験のテーマと内容について①

歩きたくなるまちなかづくり【安全性の高い歩車共存空間を作る】

内容（名称は仮）	目的	検討事項・懸念点
白線の再移設	車両速度減少/歩行空間拡張	白線跡が気になる。再移設が難しければ黄色を太く
イメージハンプ	車両速度減少/歩行者の誘導	車への効果は期待できない
フィジカルハンプ	車両速度減少	設置箇所・国総研依頼・警察対応
車両進入制限	裏通りの通過交通を制限し、裏通り利用者の快適性を向上	制限方法・警察対応
黄色のライン	大通り/裏通りの回遊促進	幅15cmにしてはどうか
兎小路（LIVING PASSAGE）	大通り/裏通りの回遊促進	風鈴選定（音質・耐久性）

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

社会実験のテーマと内容について②

快適な居場所作り【行きたくなる、居続けたくなる空間・道路と一体的な沿道空間】

内容（名称は仮）	目的	検討事項・懸念点
南町自由広場(LIVING PARK)	公共/屋外空間活用	緑の壁？ができるか。芝を活かして緑視率25％を目指す？
Wi-Fi設置	滞在性向上	日々の利用量が取れるはず
電源設置	滞在性向上	測定難・必須ではない？
ストリートスポーツ BMX、スケボー、3on3	挑戦する若者の居場所を作る	ストリート●●は「観られたい」「魅せたい」、挑戦者そのもの。 水戸駅周辺にはストリートミュージシャン、パフォーマー、スケボーあり。
空き店舗活用	コンテンツ作り/沿道景観改善 チャレンジ誘発	ポップアップストア？ 南町３丁目まで含めると◎
入りやすいお店・環境作り	気軽にまちなかを楽しめるように	車道と一体的な空間づくり
使いやすい駐輪場の設置	自転車で来やすいまちなかに。自転車できて歩くとかも。	場所とラックの選定、費用
西洋倶楽部ビル、読売会館ビル (WORK LOUNGE)	民間/半屋内空間活用	さらに良い空間にするには
ドッグラン（DOG LIVING）	民間/屋外空間（空き地）活用	利用者ベースの管理体制の構築
PARADISO（ROOFTOP PARK）	民間/屋上空間活用	貸しスペースになっている
沿道駐車場の活用	沿道景観改善、道路の一体的活用	オーナーの了解、活用主体の選定

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

社会実験のテーマと内容について③

持続可能なまちなかづくり【SDGsを先導するまちなかづくり】

内容（名称は仮）	目的	検討事項・懸念点
グリスロ	自家用車を使わない移動体験 ゾーン20の疑似体験	運行ルートと周辺との連携、他の環境コンテンツの充実が必要
地域通貨	購買情報の提供など、地元商店街を巻き込み地域経済への貢献	協力店舗探し、導入方法、歩いて稼げるとかもいい
アフター5を楽しむまちなか	働き疲れてまちなかを楽しめていないまちなかワーカーに新たなライフスタイルを	協力企業探しに加え、まちなかの情報提供が必要
古着を楽しむまちなか	リメイク古着などサスティナブルでオシャレな古着で若者の入り口（挑戦）を作る	文化デザイナー学院と連携 着物やアパレルブランドが多く、服飾専門生もいる。 ファッション系での挑戦。
グッズ販売	活動の資金源を確保	法人税・法人住民税支払い
制度適用可能性検証	持続的な空間づくりのための制度適用	地元の共感と行政としての取り組み 継続的な地元との関わり

挑戦心を育むまちなかづくり【挑戦を受け入れ、支える仕組みと空気を作る】

内容（名称は仮）	目的	検討事項・懸念点
まちなかチャレンジ	水戸まちなかデザイン会議メンバーによる挑戦のサポートを通じて、その他大勢の挑戦を受け入れ支援できる体制・空気を醸成する。	行政がコンシェルジュ的に機能できるかどうか。

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

全体会議のスケジュール

・第一回全体会議　6月30日　（令和4年度の行動計画）

・第二回全体会議　8月下旬　（社会実験の企画概要）

・社会実験　10月中下旬頃

・書面による報告　12月初旬　（社会実験の概要報告）

・シンポジウム　2月下旬　（まちなかの魅力と取り組み紹介）

・第三回全体会議　3月中旬　（社会実験の検証結果報告と次年度）

©水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会